

One Purpose

同志社大学通信
FOR BETTER COMMUNICATION

143

2005
June
DOSHISHA UNIVERSITY

特集●同志社のベンチャー

同志社人訪問●声優 山崎和佳奈さんに聞く

新島襄の旅した風景●中九州編 「熊本バンド」の里めぐり

『ONE PURPOSE』は学生・卒業生のみなさんと大学とのコミュニケーションをはかることを目的として発行しています。さいななことでも結構ですので、どしどし広報課までご意見・情報をお寄せください。

COVER STORY 表紙の情景

4月25日午前9時20分頃、JR福知山線尼崎―塚口間で、宝塚発同志社前行き快速電車(7両編成、乗客乗員約580人)が脱線転覆した。この事故により、同志社大学の学生3人が犠牲となり、25人が重軽傷を負った。

事故の情報が伝わると、キャンパスは悲しみに包まれた。翌26日から3日間、今出川、京田辺の両校地では、犠牲となった方々を追悼する祈祷会が開催された。4月28日、今出川校地同志社礼拝堂で行われた祈祷会(表紙写真)には、八田英二学長や各学部長をはじめ約500人が祈りを捧げた(京田辺校地では1,500人:写真右)。司式を務めた三木メイ キリスト教文化センター専任講師は「主なる神よ、この不慮の事故によって、突然命を絶たれた多くの人の魂が、あなたの全き愛によって、その御手の中で安らかに眠りにつくことができますように。彼らに永遠の平安があたえられますように、心より祈り求めます」と祈りの言葉を捧げた。また、全員で聖書を交読し、黙祷を行った。

5月中の平日、通常のチャペル・アワーに加え、祈祷会およびメディテーション・アワーが開かれた。

「人ひとりの大切さ」を思う気持ちに衝き動かされた学生・教職員が、誰に言われるでもなく、毎日集まった。



どこに行けば
あなたの霊から
離れることができよう。
どこに逃れば、
御顔を避けることができよう。
天に登ろうとも、
あなたはそこにいます
陰府に身を横たえようとも
見よ、あなたはそこにいます。
曙の翼を駆って海のかなたに
行き着こうとも
あなたはそこにもいます
御手をもってわたしを導き
右の御手をもって
わたしをとらえてくださる。
(詩編139編7-10編)

大学の活動

特集

同志社のベンチャー 2

同志社の研究は今

ワールドワイドビジネス研究センター 「法・経済・商学部が連携してワールドワイドビジネスを考察する」 .. 7

データでみる同大生の2004年度就職戦線 9

2005年度 大学予算について 11

CAMPUS NEWS

日本機械学会関西支部2004年度関西学生会学生員卒業研究発表講演会でBPAを受賞/ローム記念館プロジェクトの活動について/高田延彦氏が京田辺校地で講演/同志社大学の募金事業について/卒業生の新刊図書/本学教員の新刊/Present For You 14

在学生・教員の活躍

OP COMMENTARY

ベティーナ・ギルデンハルト 言語文化教育研究センター専任講師 「入試雑感」 13

新島襄の旅した風景

中九州編 「熊本バンド」の里めぐり 20

MY PURPOSE

大学生と元気企業の会長兼CEOを両立~オンリーワンの生き方を貫く~
・小笹公也さん(商学部商学科4年次生) 27

卒業生の活躍

INTERVIEW ~同志社人訪問~

声優 山崎和佳奈さんに聞く 17

MY JOB, MY LIFE ~シリーズ 私と「仕事」~

・松本伸一郎さん(2001年文学部文化学科心理学専攻卒業)
・中村絵葉さん(2001年文学部英文学科卒業) 23

ANNOUNCEMENT 25

同志社のベンチャー

同志社大学では、大学発ベンチャーとしてインキュベーションルームに2社、学外に8社の計10社が活動を行い、多くの技術シーズを生み出している。また、同志社大学リエゾンオフィスなどを始めとする大学の支援体制がさらに整備され、同時に現役学生が起業しようとする動きも見られるようになってきた。そこで今回は、学内外から大いに注目を集める「同志社のベンチャー」を特集する。

私が大学発ベンチャーを 起業したことの意味

同志社大学のキャンパス内に会社があることはご存知だろうか。インキュベーションルーム（京田辺校地ラウンジ棟）を拠点に、現在2社のベンチャー企業が活動している。起業に携わり、自ら役員を務める教員が、ベンチャーを立ち上げた経緯と、今後の展望を語った。

国内最速のPCクラスタから生まれた技術を用いて、社会に「賢い解決法」を提供する。

株式会社インテリジェント・ソリューションズ

私が大学発ベンチャーを起業した背景には、3つのポイントがありました。1つ目は、同志社大学リエゾンオフィスが誕生し、大学の研究成果を社会に還元する体制が整ったことです。日本における大学と企業の共同研究は、欧米に比べて遅れを取っていましたが、ようやくここ4、5年で多くの人の理解を得られた感があります。

2つ目は、世界に誇れる独自の基盤技術が完成したことです。私の知的システム・デザイン研究室では長年にわたり、進化的最適化手法と、その膨大な計算を実現するPCクラスタの研究を行ってきました。PCクラスタとは、パソコンを数百台連結したもので、スーパーコンピュータに匹敵する性能を発揮します。研究室で最初にPCクラスタが完成したのは2000年。その後改良を繰り返して、2003年10月、ついに第4世代のPCクラスタが完成しました。最新の64ビットパ



株式会社インテリジェント・ソリューションズ
代表取締役社長

工学部知識工学科教授

三木 光範

Mitsunori Miki

した。この研究から生まれた応用研究は、文部科学省知的クラスター創成事業や経済産業省中小企業型地域コンソーシアム事業に採択され、企業から委託研究の申し込みが急増しました。私たちの技術シーズを産業界のために広く活用する必要が生じたというわけです。

社名は、進化的最適化手法を用いてインテリジェントなソリューションズ（賢い解決法）を提供するという、会社の設立意図を表しています。インテリジェントであるということとは、環境の変化に対応するメカニズムを内部に持つということです。例えば、PCクラスタに生物学の適者生存法則からヒントを得た「遺伝的アルゴリズム」を組み込みます。すると、看護師の勤務シフトや列車のダイヤ編成など、これまで莫大な時間と労力を要した問題も、PCクラスタならたちどころに導き出してくれます。さまざまな課題を私たちのノウハウで定式化し、従来にない有効な解決方法として社会に還元することが、主な事業内容なのです。

ソコン（一般的なパソコンは32ビット）512台を並列で結び、1秒間に1兆回の演算速度を出すことができるため、日本一の実効速度を持つPCクラスタとして認知されま

私たちの提供するソリューションは、オンラインの技術によって成り立っています。ビジネスの規模をぐんぐんに大きくするつもりはありません。私自身が代表取締役を務めている事情から、他社でも解決できる案件を受注してしまうと、企業受託研究や学生教育に手が回らなくなる恐れがあるからです。技術シーズを温め、事業化の芽を出させるところまでは大学内で行い、もし大きなビジネスに育てる必要が生じれば、経営は第三者に委ねるべきでしょう。現



在のところは、株式会社インテリジェント・ソリューションズは、少数精鋭の専門家集団でありたいと考えています。

大学発ベンチャーの3つ目のポイントは、学生にとってまたとない勉強の機会が得られることです。

日本では、教員はアカデミズムの殻に閉じこもりがちで、一方、昨今の学生はハンダリーでなくなり、勉強に対するモチベーションを低下させているように見受けられます。大学と社会との接点が見失われてきたのです。私は2002年、NPO法人Kyoto.CioG.acを設立し、学生と自治体の協力による地域のIT化推進活動を行いました。学生は、パソコン講座や市役所の業務システムの改良などを通して、勉強の成果を社会に還元すれば、多くの人から感謝されるということを体験しました。そこで、大学発ベンチャー企業という形で大学内に現実世界を持ち込むことは、学生の教育にとって非常に効果的だと考えるに至ったのです。大学発ベンチャーでアルバイトをすれば、社会のニーズを直接知ることができ、自らの研究が社会にとっていかに有用かを実感

できます。ビジネスの現場に立ち会うことで、社員の先輩から刺激を受けることも多いでしょう。そのうえ、学びながら報酬が得られることになるのです。

会社の設立にあたり、私は学生とともに、経営とは何か、株式とは何かを一から勉強しました。定款の作成や設立登記の申請もすべて自分たちで行ったことは、学生はもちろん、私個人にとっても貴重な経験になりました。これらの過程で、簿記3級の資格をとった学生は5人もいます。これは工学部では珍しいことでしょう。今後も大学発ベンチャーの最大のメリットである教育効果を念頭に置きつつ、研究成果を社会に還元していきたいと考えています。

株式会社インテリジェント・ソリューションズ

会社概要

住所：〒619-0225
京都府相楽郡木津町木津川台2丁目8番地1
設立：2004年4月13日
資本金：1,000万円
代表者：三木光範

業務内容

- 最適化に関するトータルソリューションの提供
- インテリジェント・システムの開発
- PCクラスタのデザイン開発
- ハイ・パフォーマンス・コンピューティング計算資源の提供
- 国や地方公共団体の情報システムのデザイン

関連教員

工学部知識工学科 三木光範教授、廣安知之助教授

ナノテクから環境、エネルギー分野まで、 熔融塩電解技術の可能性に挑戦する。

〈株式会社イオックス〉

京都大学大学院エネルギー科学研究科

が主催した「産学連携シンポジウム」が機縁となつて、「モノづくりの町」として知られる東大阪市にある金属表面処理を行う会社の役員の方から、「MSEP(エムセップ)の研究を進展させ、新規事業を立ち上げましょう」と熱心な誘いを受けました。

私たちは長年、熔融塩電解技術(MSEP: Molten Salt Electrochemical Process)の研究に取り組んできましたが、この技術シーズを東大阪で育て、目玉産業にまで発展させたい、というのです。その高い志と熱意に応え、2003年10月、東大阪市の10数社の出資を得て、株式会社イオックスを設立しました。現在は東大阪にある中小企業支援施設「クリエイション・コア東大阪」に本社機能を置き、学内インキュベーションルームを応用研究所の拠点として、新材料・新素材の開発を進めています。

私たちの基盤技術であるMSEPについて説明しますと、熔融塩は、塩化ナトリウムなどの金属塩の結晶を高温で溶融したイオン性の液体で、多くの優れた特長を持っています。例えば、水溶液を溶媒として電気分解を行う場合、陰極での水素の発生や陽極での酸素の発生が妨げとなつ



株式会社イオックス
取締役
工学部環境システム学科教授

伊藤 靖彦

Yasuhiko Ito

て限られた元素しか反応させることができませんが、熔融塩を溶媒に用いると、ヘリウムやアルゴンなどの不活性ガス以外のほとんど全ての元素を反応させることができるようになります。MSEPとは、熔融塩の優れた特長を利用して、熔融塩中で様々な電気化学反応を起こすことによつて、これまでにない材料を創製することにも、新たな物性を発現させることを可能にする技術なのです。MSEPを応用できる事業分野は多岐にわたりますが、資

特集 同志社のベンチャー

金力やマンパワーを考慮して、とりあえず現在は、金属ナノ粉体事業とカーボン膜事業の2つに絞り込んでいます。

金属ナノ粉体事業では、MSEPの一種「プラズマ誘起電解法」(特許申請中)を用いた金属ナノ粉体の創製に取り組んでいます。金属の塊を粉碎して細かくしていく従来の方法では、ナノサイズの微粉体を製造することは困難です。しかし、プラズマ誘起電解法を用い、溶融塩の直上でプラズマを発生させることで溶融塩中に金属原子を生成させると、これが衝突・合体を繰り返してナノサイズの微粉に成長していきますので、うまく制御してやりやすくと、望みの粒径や形状の金属ナノ粉体が得られます。同じ原理を用い、陽極反応に工夫を加え、回収した電子機器に含まれるレアメタルを取り出して再利用することもでき、資源の有効利用に新しい道を開きます。

もうひとつのカーボン膜事業では、溶融塩中に溶けこんだ炭素を含む化合物の電解を行い、特殊な多孔質構造のカーボン膜を形成させることに成功しました(特許申



請中)。現在、このカーボン膜を電気二重層キャパシタ用の電極に利用する研究を進めています。電気二重層キャパシタは、ハイブリッド自動車などに利用される蓄電デバイスで、エネルギー変換効率に優れ、環境に優しいエネルギー貯蔵装置として注目されていますが、私たちの開発したカーボン膜は、そのキーマテリアルになり得る

私たちの技術シーズは、ナノテク分野だけでなく、エネルギーや環境分野にも対応できることが強みです。重厚長大型からナノテク型へと産業構造が変化するなか、その先端を走る企業だと自負しています。5年後の株式上場をめざしており、事業規模の拡大にも積極的に取り組んでいます。この目標を達成するためには、パート

株式会社イオックス

会社概要 /
住所: 〒577-0835 大阪府東大阪市柏田西1-12-26
設立: 2003年10月30日
資本金: 3,700万円
代表者: 中村克弘

業務内容 /
・溶融塩電解による新材料・新素材の開発、製造、販売
・上記に係る薬品及び電気化学に関する薬品の製造、販売
・溶融塩電解/ノウハウの販売及び技術コンサルタント業務
・電気化学プロセスに関する装置、システムの開発、製造、販売
・電池に関する開発、製造、販売
・ソフトケミカルによる材料の開発、製造、販売

関連教員 /
工学部環境システム学科 伊藤靖彦教授、盛満正嗣助教授

ナー企業を増やしたり、行政機関が行う支援プロジェクトに申請したりすることも必要になってくるでしょう。現在、社員は私を含めてわずか4人。今後は若い人材を投入し、社会のニーズに応えられる組織強化に努めていきます。

私たちの新エネルギーシステム研究室は、昨年4月の環境システム学科創設ともなつて誕生しました。教員は盛満正嗣先生と私の2人で、学生は現在8人です。学生には「新島襄先生が同志社英学校を開校されたとき、学生はわずか8人。私たちの研究室も、何十年か後には世界に冠たる研究室になつていくように、志を高くして頑張りましょう」と話しています。私たち教員が真剣に取り組む姿から、何かを感じ取ってくれることを期待しています。

同志社大学発・連携ベンチャー

株式会社インテリジェント・ソリューションズ (株式会社イオックスの他に、同志社大学発・連携ベンチャーとして以下の企業が活動を行っている。)

株式会社 ロバストエンジニアリング (枚方市)
事業内容 / 「ノウハウをカタチにする技術」をもとにモノづくりにかかわる総合エンジニアリング会社
関連教員 / 片山 傳生【工学部機械システム工学科教授】
http://www.robust-eng.com/robust-J/robust_top-J.html

株式会社 エックスレイ プレシジョン (京都市)
事業内容 / X線装置の開発・製造・販売、X線にかかる受託・コンサルタント
関連教員 / 片山 傳生【工学部機械システム工学科教授】
<http://www.x-ray.co.jp/>

滋賀県商工環境 株式会社 (彦根市)
事業内容 / 環境に関する一切の業務
関連教員 / 片山 傳生【工学部機械システム工学科教授】、青山 栄一【エネルギー機械工学科教授】
<http://www.shiga-eco.co.jp/>

有限会社 ケイテックシステム (宇治市)
事業内容 / 高精度面圧センサー事業
関連教員 / 辻内 伸好【工学部機械システム工学科教授】
<http://www.tecgihan.co.jp/Ktec/index.htm>

有限会社 デジタルレポリューション (京都市)
事業内容 / バーチャルコンベンション事業
関連教員 / 渡辺 好章【工学部電子工学科教授】
<http://www.digital-r.com/>

アーカイラス・エンジニアリング合資会社 (城陽市)
事業内容 / ナノ粒子を用いた先端分析技術の開発等
関連教員 / 森 康維【工学部物質化学工学科教授】
<http://www.archilys.com/>

株式会社パウデック (横浜市)
事業内容 / 窒化ガリウム系半導体エビ基盤の開発および生産
関連教員 / 山口 栄一【ビジネス研究科教授】
<http://www.powdec.co.jp/>

株式会社アークゾーン (豊島区西巢鴨)
事業内容 / ナレッジ・ホールディング(発明特許の維持管理及びライセンスング)
関連教員 / 山口 栄一【ビジネス研究科教授】

大学発ベンチャーを活性化させる さまざまな支援体制

DVT(同志社ベンチャー トレイン)の活動



同志社ベンチャートレイン(DVT)は、学生の起業支援を目的としたサークルだ。発起人は塩谷愛さん(工学部電子工学科3年次生)と柳田将



塩谷愛さん(工学部
電子工学科3年次生)

司さん(文学部英文学科4年次生)の2人。高校時代に通信サービソ会社を設立した経験を持ち、現在、就職支

援事業を行っている塩谷さんは、「何事にも積極的にチャレンジすることで得られる喜びをみんなと分かち合いたい」と考えるようになったという。その思いに賛同した学生が集まり、リエゾンオフィスとの共同によりさまざまな活動を展開している。

2004年の5月から10月にかけて、計5回におよぶ「ビジネスプラン作成講座」を開催した。株式会社VSN(ベンチャーサポートネットワーク)の吉田雅紀氏(1976年商学部卒業)らベンチャービジネスコンサルタントを講師に招き、「ひらめき」や「アイデア」をビジネスモデルに発展させるための

ディスカッションなどを行った。塩谷さんは「学生同士が互いに触発し合う場となったことに満足しています」と振り返る。11月には、その成果を「第1回同志社大学ビジネスフランチンテスト」で発表した。初めてにもかかわらず、全体で53プランのエントリーがあり、1次審査を通過した6つのプランが審査された。日本茶を新しいスタイルで

提供する「日本茶スタバ」、外国人観光客に日本文化を紹介する「お手軽チャー」などユニークなプランが登場した。服飾デザイン系の専門学生に作品発表の場を提供する「クリエイターフェスティバル」は、昨年、大阪で実現された。学生交流施設の運営プラン「Infobrary」は、企業の協力を得て、実現に向けて進行中だという。



昨年の成果を踏まえ、DVTでは今年度、ビジネスプラン講座を50人規模の合宿形式で行い(下記)は

じめの一步合宿(参照)、12月17日に開催される第2回ビジネスフランチンテストへつなげる計画だ。代表の伊藤彰浩さん(商学部3年次

生)は「私たちの仲間には起業をめざすだけでなく、イベントの企画や運営を通して得た経験を社会に出た時に活かそうと考え、活動しているメンバーもいます。社会に対して何らかのアプローチをしたい学生にぜひ参加してほしい」と話している。

卒業生のネットワークを活用する ベンチャー支援組織が誕生

2004年11月、NPO法人「同志社大学産官学連携支援ネットワーク」が発足した。経営者、起業家、弁護士、公認会計士、中央、地方行政担当者など多くの卒業生が活躍し、大学と卒業生との絆が存在する同志社大学の知的財産や人的ネットワークを活用して、大学発ベンチャーを支援し

はじめの一步合宿

「大学生活が楽しくない」「もっと違う世界が見たい」と考えている方はいませんか? 私たちDVTでは、リエゾンオフィスとの共催で「はじめの一步合宿」を行います。この合宿はサポート講師陣を迎え、ビジネスプランを作ることを通して「プレゼン能力」「論理的思考力」「発想力」「ディスカッション能力」を伸ばしていく合宿です。12月のコンテストに向けての準備とするもよし、就職活動に向けての自分磨きとするもよし。何もわからないけどちょっと興味があったり参加したいという方でももちろんかまいません。きっと新しい仲間にも出会えるはずです!

夏休み最後のイベントとして是非、奮ってご参加ください。

【日 時】9月16~18日(2泊3日)

【場 所】同志社びわこリトリートセンター

【費 用】1万円

【定 員】先着50人(定員が埋まり次第締切)

【お問い合わせ】熊谷(工3)TEL.090-8200-5838

E-mail:akio-infinity@ezweb.ne.jp

2006年、ベンチャー支援のための インキュベーション施設がオープン

経済産業省の平成17年度大学連携型起業家育成施設整備事業として、京田辺校地にインキュベーション施設が建設されることが決定した。この事業は、京都府や京田辺市の支援のもと、同志社大学と中小企業基盤整備機構(経済産業省)が連携し、

ていこうという試みだ。すでに、「地域ビジネスの活性化のための研究会」「医療・健康産業の創業に関する研究会」「企業あるいは第三セクターの再生に関する研究会」などがスタート。産業界と大学が利害を超えて連携し、行政にも働きかけを行いながら、新たな産官学連携のモデル作りをめざす。

新事業創造支援活動を行うもの。この施設から、ナノテクノロジー、新規材料、IT技術等の研究成果を活用したベンチャー企業を生み出すことで地域における新規事業の創出を図る。2006年9月にオープン予定。

社会を知る手がかりとしたい 「同志社大学発ベンチャー」

経済産業省が2004年度末に行った調査によると、大学発ベンチャー企業は全国に1000社以上もあるそうです。大学発ベンチャー企業に注目が集まる背景には、大学に眠っている知的財産を掘り起こして新産業を立ち上げ、経済を発展させようという気運の高まりがあります。これはアメリカで盛んに行われた手法にならったもので、日本ではとりわけハイテク分野に期待が寄せられています。

研究の成果を産業の活性化に活かす方法には、特許の申請や産官学連携などがあります。同志社大学でもすでに多くの教員がそれを実践していますが、最も手取り早い方法は、教員自らが起業することでしょう。しかし教員には、教育と研究という2つの重要な仕事があり、一般の方が起業する場合と比べると、企業経営に費やすことができない時間はごくわずかしかなかったり、前出のように三木光範教授や伊藤靖彦教授が起業された意義は、経済効果の追求にあるのではなく、大学内起業によってもたらされる教育的効果にこそ存在します。かつて新島襄は、自由人を育

成するために同志社を建学しました。とすれば、大学での活動の大前提は教育ということになります。同志社大学発ベンチャーのめざすべき方向は、教員が自らベンチャーに取り組む姿勢を見せて学生を奮い立たせることであり、教員の肩越しに社会の仕事を見つけていくことに尽きるといえるでしょう。

最近では、教員ではなく学生自身が起業する例が増えてきています。学生ならではの感覚を活かした斬新な事業が、日本経済の活性化に繋がることは歓迎すべきでしょう。しかし、私たち同志社大学リエゾンオフィスとしては、やみくもに起業を促すのは間違いだと考えます。重要なことは、それが学生の身の丈に合った起業であるか否かです。「ベンチャー」という言葉の格好良さに釣られて起業するのではなく、きちんとリスクテイクを行って欲しいのです。ベンチャーには光と影の両面があります。長者番付の常連もいれば、莫大な負債を抱えて失敗者の烙印を押される人たちもいるという現実を認識しなければなりません。そのためには、まず現実社会の仕組みをしっかりと学

び、社会の一員であるという自覚を身につけることから始めるべきなのです。

同志社大学リエゾンオフィスでは、学生向けのベンチャー講座を開講しています。昨年は「第1回同志社大学ビジネスプランコンテスト」を開催し、多くの学生がエントリーしてくれました。プランの内容はまだ完璧とまでは行かないものの、十分満足できるものでした。ベンチャービジネスのやり方には、実はいくつもの手法があります。重要なことは、社会に貢献できるプランかどうかです。企業はモチをつくることによって社会に貢献するために存在し、貢献できた企業だけが存続を許されています。利益性や実現可能性だけにとらわれないこと、社会に新たな価値を生み出すことができる企業を作ろう。学生にはそう呼びかけています。

現在、同志社大学の教員が関連しているベンチャー企業は10社あります。数は決して多くありませんが、各々の活動が同大生の誇りとなるような事業展開を進めています。「学生にベンチャー教育をする」というと、大企業に就職し、終身雇用制度の下で無事に定年を迎えることを善しと考える

方からは、お叱りを受けるかもしれません。しかし、活動を通して、ベンチャー企業という世界、すなわち従来の大学の文化にはなかった「新しい文化」が芽生えたことに気付いてもらう、これも、私たちリエゾンオフィスが担う役割の1つだと考えています。

私が学生諸君に願うことは、もっと社会に目を向けて欲しいということです。社会との接点を持つ機会をたくさん作って欲しい。ビジネスプランコンテストへの参加や、ベンチャー企業に携わる教員の研究を手伝うことは、とても有意義です。そして、社会を見ることで、そのしくみや人を知り、窓を開いて外の空気を吸って、同志社大学の良さを改めて理解して欲しいと思います。

同志社リエゾンオフィス所長
知的財産センター所長
(工学部電子工学科教授)

わだ もと
和田 元
Motoi Wada

同志社リエゾンオフィスの
ホームページ
<http://liaison.doshisha.ac.jp/>



法・経済・商学部が連携して ワールドワイドビジネスを 考察する

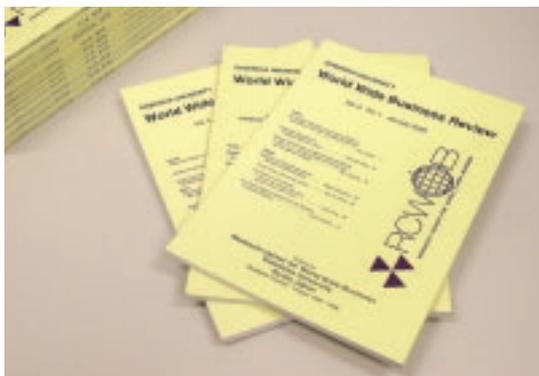
今回ご紹介する共同研究プロジェクト「ワールドワイドビジネスの総合的研究」は、文部科学省の平成16年度学術フロンティア推進事業に採択された。平成11年にも一度採択されており、取引や企業活動を中心とした研究で、「AA」という高い評価を受けている。継続申請となった今回は、さらなる成果が期待されており、研究の概要と目標についてセンター長の上北武男法学部教授に伺った。

ビジネスのワールドワイドな展開は、もはや一部の大企業のものだけではなくなってきました。驚くべきスピードで進む市場の国際化は、中小、中堅企業をも巻き込み、グローバルな競争に打ち勝てなければ、持続的な発展も望めない時代を迎えています。しかし、国際的に企業行動を行うというところは、各国の市場の特性や商慣習、法律上の手続き、さらには各国の国民生活への配慮など、さまざまな問題と向かい合うことでもあります。これら複雑に絡み合うリスク要因を上手にマネジメントしていくには、政治、法律、経済、環境、経営の各観点から総合的に検討を加え、対処することが望まれます。そこで、本学の法・経済・商の3学部から教員が集まり、他大学および研究機関から共同研究者を加えて、「ビジネス」をキーワードに取引や企業活動を中心とした研究を推進することを目標に「ワールドワイドビジネス研究センター」を発足させました。今回の学術フロンティア推進事業の採択にあたっては、これまで以上に学際

色を強め、法・経済・商の連携強化に努めていきます。

具体的に紹介しますと、本プロジェクトは大きく4つの分野から成っています。

1つ目は「政府・国家と企業に関する研究」です。この分野では、グローバル化が近代国家に与える影響を研究しています。そのなかでも、とりわけEUを対象に多面的・集中的に検討を行なっています。現在、EUでは、リージョナル（地域統合）の進展によって経済的・社会的な発展が期待される一方、従来の国家概念が変容し、個々の国の特性が失われることから、帰属意識を持った国民の不満が高まっています。こうしたリージョナリズムが政治や企業活動に与えるメリットやデメリット、さらには国際体系に及ぼす影響を、政治や法律を中心に多面的かつ実証的に分析しています。こうした考察は、NAFTAなどの地域統合との比較だけにとどまらず、BRICS（ブ



センターの研究成果報告として年2回発行している「ワールドワイドビジネスレビュー」

Takeo Uekita



上北 武男
【ワールドワイドビジネス研究センター長・法学部教授】

ラジル・ロシア・インド・中国）と呼ばれる巨大新興市場の理解に役立つことが期待されます。

2つ目は、「ワールドワイドビジネスの企業行動に関する法的な研究」です。商取引や企業活動が国際化すると、国家間の法律の違いから生じる企業間の紛争が問題となります。この分野では、企業法、取引法、知的財産法、民事訴訟法の4つのグループに分かれて法制に関する研究を行っています。これまでのようにトラブルが生じてから動き出すのでは企業にとつてのリスクが余りに大きく、事業展開をスムーズに行うためには、より国際的な法研究が不可欠です。そのため、各グループでは法

文化や歴史的背景の違い、それを克服する試み、さらには国家の枠を超えた共通のルールづくりへの動きなどを調査し、国際取引紛争の予防と対処方法の指針を示したいと考えています。

3つ目は、「ワールドワイドビジネスの企業行動に関する経済学的な研究」です。ここでは、グローバル化が与える影響を企業行動と環境の2つの側面から研究を行っています。企業行動に関する研究では、これまで日本企業に対してはあまり行われてこなかった実証的な調査を行い、国際投資や規制改革、国際市場への参入・退出などが企業活動に与える影響を分析しています。ゲーム理論などを用いた理論的分析やデータを用いた実証的研究をうまく組み合わせることにより、企業の事業戦略や国際化戦略の最適化に寄与することをめざしています。また、環境側面については、いままでは行われてこなかったエコトリスムの研究に着手するとともに、主に近畿地方を対象にした経済活動と環境負荷の関係解明を人工衛星を使用しています。人工衛星から送られてくるリモートセンシング画像に、本研究センターで開発した推定アルゴリズムを用いて、植物が光合成で吸収したCO₂の量を予測することで、地球温暖化対策を検証するというものです。この実験で有効性が確認できれば地球規模での展開を考えています。

4つ目は、「ワールドワイドビジネスの戦略的マネジメントにおける新傾向の研究」です。本センターの5年間の研究成果

を活かした先端の研究分野で、激変する国際情勢に企業がいかに対応し、リスクを回避するためにどのような戦略対応を行おうとしているかを最新動向から分析しています。中でも、最新理論とされているグローバルSCM(サプライ・チェーン・マネジメント)に着目。これまでの研究では日本企業は、生産・販売・購買の連携を図るという点では、欧米企業と比べてより進んだシステムの構築に成功してきました。これを国際的な資材・部品調達に適用する、あるいは地域ネットワークとリンクさせるなど、ビジネスの国際化にともなう進展を見せるグローバルなSCMの現状を具体的に解明しています。さらには、国際市場で存在感を増すBRICsや東アジアの調査を通じて、日本企業の技術戦略や技術移転の現状を明らかにしていきます。

ワールドワイドビジネス研究センターが設立されてから6年あまりが経ちます。社会科学系のプロジェクトは理工系のプロジェクトに比べ、すぐに成果につながらないという一面があるにせよ、昨年12月に「ヨーロッパの拡大と深化」、今年2月に「日本と韓国市場にみる企業戦略」、3月に「21世紀の巨大成長市場圏とワールドワイドビジネス」と題する講演会やワークショップ、さらにはセミナーなどを開催。また研究成果報告として「ワールドワイドレビュー」を年2回発行するなど、内外への情報発信にも積極的に取り組んでまい

他大学の講師を招いて開催された講演会
「ヨーロッパの拡大と深化」



今川校地明徳館で行われたワークショップ
「日本と韓国市場にみる企業戦略」

た。各分野の目標がそれぞれ異なるためにこれまで難しかった共同研究という課題も、共通の分野を見出すことで徐々に成果が上がりはじめています。

モノがあふれる現代社会において気になるのは、学生たちが日本は優れていると認識してしまい、外国に対する興味が薄れていることです。日本が整備された環境を持っているとしても、それだけで社会が機能的に動くとは限りません。学生諸君には、



平成11～15年度における「学術フロンティア推進事業」の研究成果論文集

学術フロンティア推進事業とは？

文部科学省が行う「私立大学学術研究高度化推進事業」の1つ。優れた研究実績をあげ、将来の研究発展が期待される卓越した私立大学の大学院研究科、研究所を選定し、内外の研究機関との共同研究に必要な研究施設などに対して総合的な支援を行う。

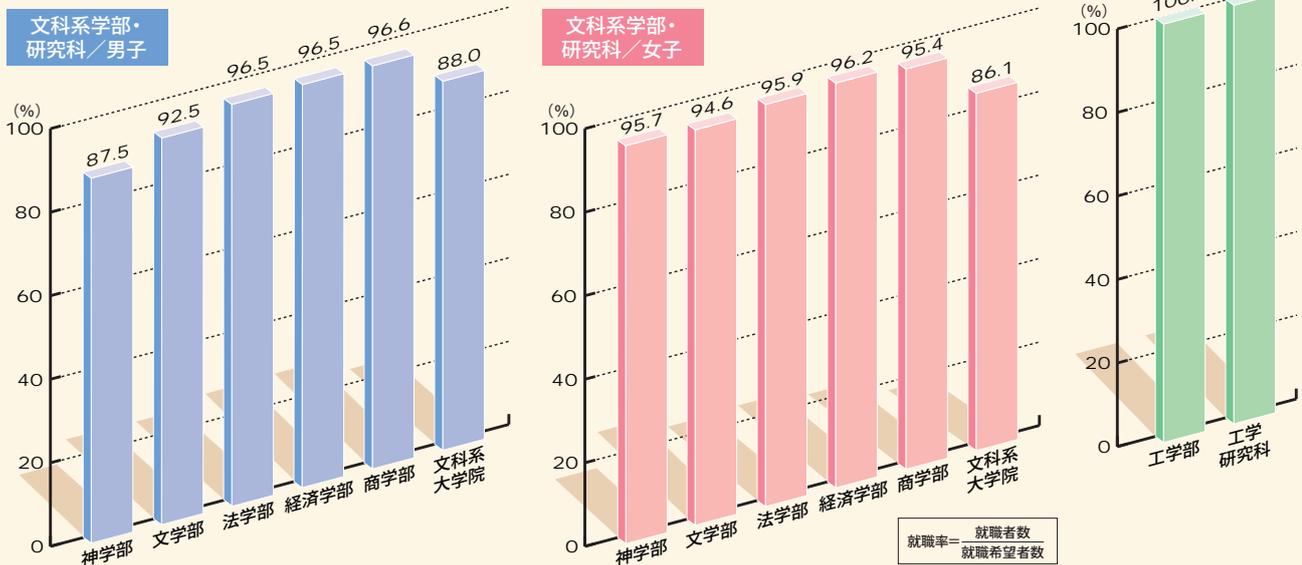
外国から学ぶことがまだまだたくさんあることを知ってほしいし、それぞれの国がどのような歴史プロセスを経て、固有の社会を創りあげたのかということに興味を持ってもらいたいと思います。そうした意味でも、本研究センターが開催する講演会やセミナーに参加し、外国から招いた講演者の話に耳を傾け、ワールドワイドな視野を持つことの大切さを実感してもらえれば幸いです。

データでみる 2004年度就職戦線

同大生の

2004年度の就職状況は、就職率96.2%とほぼ昨年どおり好調に推移した。しかし、社会の変化の中で、企業は今後ますます、外国語運用能力、情報活用能力、人間関係を結ぶコミュニケーション能力、さらには問題発見解決能力など、自ら考え行動し成果をあげることができる潜在能力を持った自立した人材を求めている。このような変化の中で、みなさん自身がより高いキャリアを形成するためには、目的を持ち勉学やクラブ活動に充実した大学生活を送ることや、インターンシップ(注1)など学外の体験学習を通じて社会の動きを理解することが大切になる。

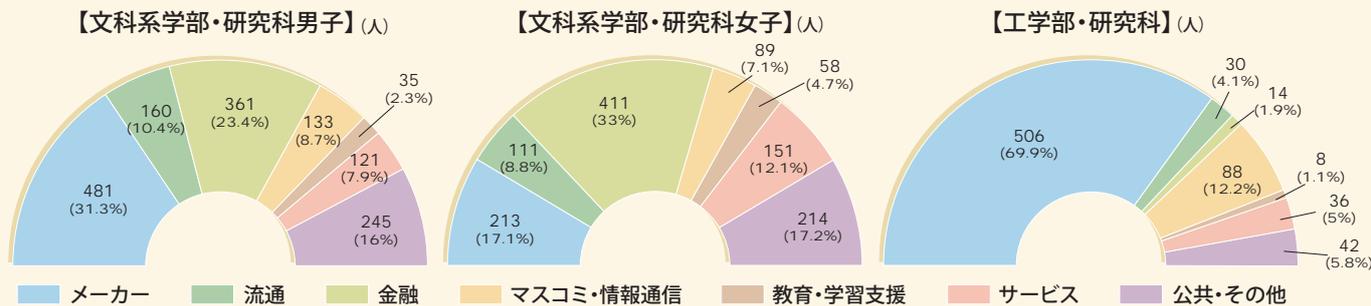
■就職率



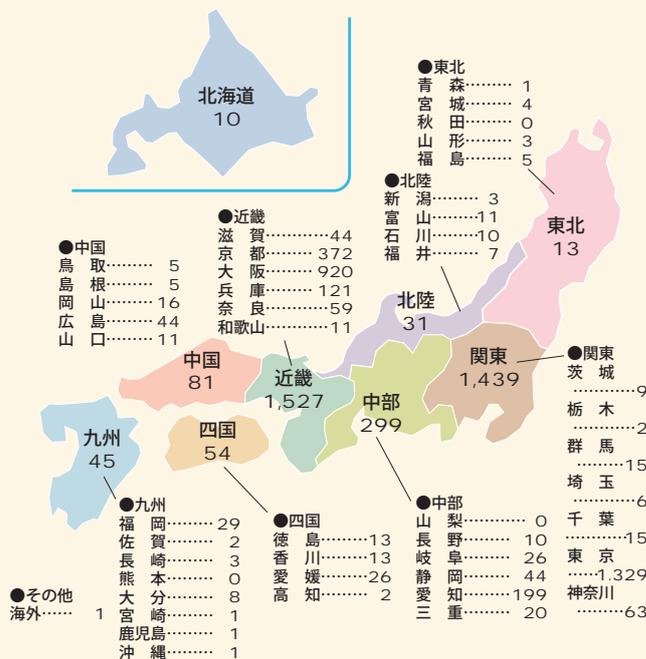
■主な就職先と人数

会社名と人数	
京都銀行	55
東京三菱銀行	51
三井住友銀行	40
日本生命保険	37
国家公務員II種	35
南都銀行	31
京都信用金庫	25
大和証券グループ本社	25
みずほフィナンシャルグループ	25
損害保険ジャパン	23
三井住友海上火災保険	21
ユーエフジェイ銀行	21
東京海上日動火災保険	20
野村證券	20
日立製作所	20
キーエンス	19
国税専門官	19
積水ハウス	19
ダイキン工業	19
大王製紙	17
松下電器産業	17
京セラ	16
京都中央信用金庫	15
住友信託銀行	15
第一生命保険	15
本田技研工業	15
シャープ	14
トヨタ自動車	14
西日本電信電話	14
日本電気	14
ローム	14
日本興亜損害保険	13
三菱電機	13
大阪府	12
キャノン	12
滋賀銀行	12
デンソー	12
松下電工	12
エヌ・ティ・ティ・データ	11
国民生活金融公庫	11
大和ハウス工業	11
マツダ	11
アイシン精機	10
京都府	10
商工組合中央金庫	10
タカラスタンダード	10
大日本印刷	10
豊田自動織機	10
日興コーディアル証券	10
インテリジェンス	9
大阪市	9
岡三証券	9
同志社大学	9
日本電産	9
ノヴァ	9
富士通	9
三菱重工業	9
池田銀行	9
大塚製薬	8
オムロン	8
住友生命保険	8
日本基督教団	8
村田製作所	8
リクルート	8
リクルートスタッフィング	8
SMBCフレンド証券	7
大垣共立銀行	7
オリックス	7
ソフトバンクBB	7
大丸	7
光通信	7
船井電機	7
松下システムテクノ	7
三井住友カード	7
三菱信託銀行	7
明治安田生命保険	7
エーザイ	6
京セラミタ	6
京都市	6
群馬銀行	6
サントリー	6
サントリーフーズ	6
三洋電機	6
十六銀行	6
高見	6
大同生命保険	6
ニッセイ情報テクノロジー	6
日本アイ・ビー・エム	6
日本航空インターナショナル	6
野村総合研究所	6
富士ゼロックス	6
堀場製作所	6
防衛庁	6
インシダ	5
NECシステムテクノロジー	5
エヌ・ティ・ティ・ドコモ関西	5
大塚商会	5
カゴメ	5
関西電力	5
京都新聞社	5
コスモ石油	5
サンゲツ	5
静岡銀行	5
資生堂	5
ジェイティービー	5
スタッフサービスグループ	5
セコム	5
セブン-イレブン・ジャパン	5
全日本空輸	5
瀧定大阪	5
武田薬品工業	5
中国銀行	5
東海旅客鉄道	5
豊田工機	5
日産自動車	5
萬有製薬	5
東日本電信電話	5
ファーストリテイリング	5
ブラザー工業	5
みずほ信託銀行	5
森精機製作所	5
ヤマハ発動機	5
ユーエフジェイ信託銀行	5
郵船航空サービス	5

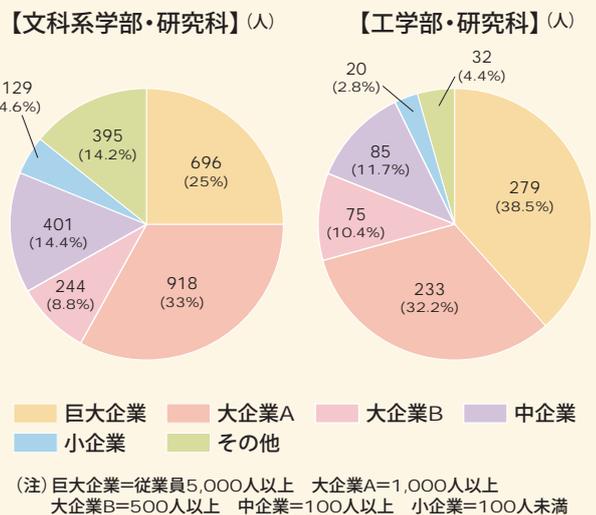
■業種別内定状況



■地区別内定状況(人)



■従業員規模別内定状況



※データは2005年4月20日現在

(注1) インターンシップ

インターンシップは、学生が在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うことです。本学では正課科目「キャリア形成とインターンシップ」を2クラス開講しています。学生諸君が大学で学んだ社会の諸課題と、その問題解決に向けての考え方、専門知識・理論との総合をはかり、その経験を通じて、より高い学習意欲を喚起しています。同時に、仕事、職業に対する興味・関心を高め、自らの適性や適職を考える大きな契機となることを願っています。その他にも企業主導型(公募制)のインターンシップもあり、キャリアセンターホームページ「仕事蔵(しごとくら)」(注2)でその一部を紹介していますので参考にしてください。

(注2) 仕事蔵(ホームページアドレス <http://shushoku.doshisha.ac.jp/>)

キャリアセンターがWeb上でさまざまな就職情報を提供している就職情報システムです。求人情報、企業情報や先輩の就職活動体験記などの就職情報の他にもインターンシップ情報を提供しています。学内で開催する各種セミナー・ガイダンス情報、「キャリア形成とインターンシップ」の授業情報だけでなく、公募型インターンシップの情報、低年次生向けの「1日インターンシップ」の情報も提供しています。

国立大学の法人化や国庫補助金の競争的配分政策に見られるように、大学間競争は熾烈化の一途をたどっております。こうした中、刻々と変化する時代の要請に応じて、本学は教育研究条件の整備を着実に推し進め、社会のニーズに沿った新たな分野の開拓に取り組んでまいりました。

2005年度は社会学部および文化情報学部を新設しましたので、昨年度開設した学部・研究科に加えて、これらの新学部の教学運営について必要な予算措置を講じます。また、全学的な教育プログラムの充実や、研究活動の活性化促進を図るとともに、学生の課外活動に対する支援制度の確立に努めます。また、同志社小学校については、法人内諸学校とも連携しながら開設準備を整えていきます。

2005年度予算は、帰属収入の安定的確保を図りながらこれらの優先的課題に十分配慮し、一方で経常的な物件費については見直しを進めて、限られた財源を効率的に配分することを大原則に編成しています。

収入の部

収入の部では、学生生徒等納付金で学部新設による入学定員増ならびに前年度開設大学院の学年進行により、前年度に対して3億8千万円増の250億円となる見込みです。これ以外の収入については、確実に収入が見込めるもののみを計上しているため（主な増減理由は表1に注記）、帰属収入合計は314億4千万円となり、前年度予算に対して4億2千万円の増収に留まっています。

第2号基本金取崩額は、大規模な建設工事や研究装置等の取得資金に充当するもので、2005年度は臨光館の建設資金に12億円を充当します。

当期固定資産除却額6億7千万円は、固定資産（機器備品）の償却期間完了によるものです。

借入金収入1億円は、学校債の発行によるものです。

特定支出準備金取崩額の内訳は、過年度に受入れたオムロン株式会社からの寄付金（オムロン基金プロジェクト宛）5千万円です。

収入の部合計は335億1千万円となり、前年度予算に対して13億2千万円の減少となる見込みです。

支出の部

支出の部では、人件費で、新設学部等の新規採用者および教員充実計画に基づく実質増員分の経費、定期昇給の必要額等を見込んでおり、前年度に対して7億1千万円増の167億5千万円を計上しています。

事業費は、表1では教育研究経費（減価償却額を除く）、管理経費（同左）、施設関係支出、設備関係支出および予備費に仕訳されていますが、全体では対前年度2億3千万円減の総額150億4千万円を計上しています（事業別予算額は表2参照）。経常的経費については前年度予算を基準として計上し、管理経費については一部の重点項目を除いて極力節減を図ります。建設事業としては、クラーク記念館保存修理（今出川）、臨光館改築（新町）、恵喜館建設、グラウンド整備、電気容量増加に備えた第2特高電気室建設（京田辺）、国際交流女子寮（仮称）建設および小学校建設などの施設整備を行います。

徴収不能引当金繰入額5千万円は、学費および学貸付金の回収不能額に対する引当金に繰り入れる額です。繰入金には、香里中高の第2体育館

等建設に係る法人内資金調達額4億5千万円を計上しています。

除却する固定資産のうち、取替更新を上回る除却額は、基本金処理として翌年度に繰り延べるため、翌年度基本金組入額繰延額1千万円を計上しています。

第2号基本金組入額の内訳は、教学施設整備資金12億円、情報基盤整備資金3億円であり、いずれも理事会で承認された組入計画に基づくものです。

支出の部合計は375億6千万円となり、前年度予算に対して10億9千万円の減少となります。

収支差額の部

収支差額の部では、収入の部合計から支出の部合計を差し引いた当年度消費収支差額が40億5千万円の消費支出超過となります。消費支出準備金を取崩すことにより、最終的には15億5千万円の消費支出超過となる見込みです。

（本文中の金額については、1千万円未満を四捨五入しています）

主な新規事業

（単位：千円）

教育研究条件の整備充実	
外国語能力テスト等の実施	14,040
司法研究科の教育支援 (アカデミック・アドバイザー制度充実、判例法令DB整備他)	37,400
教育方法・教材開発費制度の新設	5,000
図書館レファレンスツールの導入	2,270
ラーネット図書館所蔵雑誌の遊及製本	5,240
旧分類資料、アラビア文字資料等の整理	16,520
統計解析ソフトウェア等の導入	4,300
教務システム、研究者情報システム等の開発・変更	53,380
成績原簿・成績証明書電子文書化	3,970
高大連携教育事業の実施	2,480
国際研究センター (ISRC) への参加	8,000
個人研究支援費および奨励費制度の新設	15,000
学術フロンティア推進事業研究費	59,450
教育研究環境の整備	
マルチメディアラウンジ等の整備	53,020
教室および貸出用マルチメディア、AV機器の更新	88,070
図書館施設設備の整備	10,560
e-Learning環境等の整備	6,560
至誠館教室設備の更新	11,470
教室マイク設備管理システムの改修	107,050
教室音響設備の更新	13,190
寒梅館司法研究科自習ブースの増設	24,680
光塩館書庫書架の増設	2,030
工学部実験実習設備の改修	2,600

学生生活支援の充実	
学友会解散に伴う課外団体への支援制度再構築 (文系および体育系各クラブへの経費補助、2校地連絡バス等)	59,900
課外活動施設設備の整備	8,260
学生寮の改修 (此春寮)	48,300
リザーブ用地 (R2) の簡易整備	2,000
産学連携推進・知的財産管理	
ビジネスプラン作成講座の実施	1,600
利益相反マネジメント、著作権ポリシー等の作成	1,050
企画広報活動・第三者評価	
小学校および新設学部・大学院等の広報	34,000
地方都市でのオープンキャンパス、受験生向けDVD作成	4,380
社会・企業対象の企画広告	10,000
他大学との共同シンポジウム等の開催	10,000
ホームページのリニューアル	19,000
相互評価申請	6,200

施設設備更新・省エネルギー化	
今出川校地施設設備の更新 (ハリス理化学館空調、弘風館講師控室改装、明徳館屋上防水等)	57,200
京田辺校地施設のライフサイクル修繕 (ラーネット記念図書館外壁修繕、知真館2号館屋上防水)	51,460
体育施設保安・安全対策 (防犯カメラ設置、体育館床面滑り止め等)	7,580
校地間接続回線の改善	19,580
今出川校地省エネルギー化事業 (ガスコーゼ設備、深夜電力充電、井戸再掘削・濾過設備)	29,420
京田辺校地省エネルギー化事業 (高輝度誘導灯、高効率照明器具の導入)	30,000
建設事業 (本年度支払予定額)	
クラーク記念館の保存修理 (今出川)	227,400
明徳館政策学部事務室他跡地の整備 (今出川)	27,000
臨光館の改築 (新町)	1,349,850
尋真館情報処理オープン利用室跡地の整備 (新町)	13,000
国際交流女子寮 (仮称) の建設 (旧北志寮跡)	246,170
恵喜館の建設 (京田辺)	595,950
サッカー場、アメリカンフットボール場の人工芝化 (京田辺)	170,000
第2特高電気室の建設 (京田辺)	192,210
同志社小学校の設置に係る整備	2,167,930

2005年度収支予算書(表1)

2005(平成17)年4月1日から2006(平成18)年3月31日まで

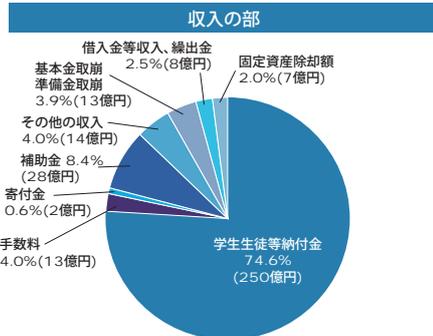
(単位:千円)

科目	収入の部				主な増減理由
	予算	前年度予算	増	減	
学生生徒等納付金	25,003,260	24,627,570	375,690		学部新設による入学定員増ならびに前年度開設大学院の学年進行に伴う増収
手数料	1,324,100	1,212,600	111,500		入学検定料の収納見込増
寄付金	201,050	259,350	△ 58,300		寄付教育研究プロジェクト研究活動費等、収納が確実なもののみ計上
補助金	2,825,000	2,929,920	△ 104,920		経常費補助金、クラーク記念館保存修理事業補助金等を計上
資産運用収入	308,320	339,630	△ 31,310		運用利率低下
資産売却差額	0	0	0		
事業収入	131,180	328,900	△ 197,720		前年度は知的クラスター創成事業あて他受託事業収入あり
雑収入	749,350	867,340	△ 117,990		定年退職者の減少見込に基づく退職金財団交付金収入の減額
繰出金	728,790	330,580	398,210		過年度の法人内資金調達返済額増加
分担金	164,610	121,740	42,870		
帰属収入合計	(31,435,660)	(31,017,630)	(418,030)		
第2号基本金取崩額	1,200,000	1,953,500	△ 753,500		随光館の建設資金に充当
当期固定資産除却額	667,900	1,114,590	△ 446,690		95年度取得固定資産の一括除却
前年度基本金組入額繰延額	890	499,250	△ 498,360		
借入金等収入	100,000	100,000	0		
当期末未払金	0	0	0		
基本金過年度組入額、未組入額計	(1,968,790)	(3,667,340)	(△ 1,698,550)		
特定支出準備金取崩額	105,630	147,770	△ 42,140		同志社大学学術奨励基金事業見直しにより減額計上
収入の部合計	[33,510,080]	[34,832,740]	[△ 1,322,660]		

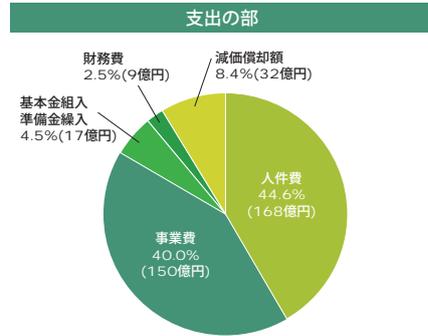
科目	支出の部				主な増減理由
	予算	前年度予算	増	減	
人件費	16,748,530	16,035,430	713,100		教員増員、定期昇給の必要額
教育研究経費	10,614,810	11,177,780	△ 562,970		主な新規事業参照
消耗品費他	7,543,590	8,241,350	△ 697,760		
減価償却額	3,071,220	2,936,430	134,790		夢谷館等の建物、備品等固定資産の増加
管理経費	1,131,090	1,441,940	△ 310,850		主な新規事業参照
消耗品費他	1,060,340	1,370,320	△ 309,980		
減価償却額	70,750	71,620	△ 870		
借入金等利息	80,200	91,230	△ 11,030		借入金残高の減少
資産処分差額	0	59,050	△ 59,050		
徴収不能引当金繰入額	45,590	65,770	△ 20,180		
繰入金	450,000	2,000,000	△ 1,550,000		香里中高への法人内資金調達額
予備費	200,000	100,000	100,000		経理規程(経常勘定における帰属収入の7/1000以上を計上)に基づく
消費支出合計	(29,270,220)	(30,971,200)	(△ 1,700,980)		
施設関係支出	4,637,200	3,456,550	1,180,650		主な新規事業参照
設備関係支出	1,598,170	2,105,100	△ 506,930		主な新規事業参照
翌年度基本金組入額繰延額	12,220	890	11,330		
借入金等返済支出	352,880	356,980	△ 4,100		
前期末未払金	0	63,080	△ 63,080		
第2号基本金組入額	1,500,000	1,500,000	0		
第3号基本金組入額	0	14,200	△ 14,200		
第4号基本金組入額	186,000	166,600	19,400		学校法人会計基準に定める「恒常的に保持すべき資金の額」との差額を組入
基本金要組入額、当年度組入額計	(8,286,470)	(7,663,400)	(623,070)		
特定支出準備金繰入額	1,390	18,380	△ 16,990		
支出の部合計	[37,558,080]	[38,652,980]	[△ 1,094,900]		

科目	収支差額の部			
	予算	前年度予算	増	減
当年度消費収支差額	(△ 4,048,000)	(△ 3,820,240)	—	—
消費支出準備金繰入額	0	0	—	—
消費支出準備金取崩額	2,499,360	1,521,810	—	—
繰入取崩後消費収支差額	(△ 1,548,640)	(△ 2,298,430)	—	—
前年度繰越消費収支差額	[△ 22,009,720]	[△ 19,711,290]	—	—
翌年度繰越消費収支差額	[△ 23,558,360]	[△ 22,009,720]	—	—

収支構成図



収入の部合計 335億円 (うち帰属収入 314億円)



支出の部合計 376億円 (うち消費支出 293億円)

事業別予算書(表2)

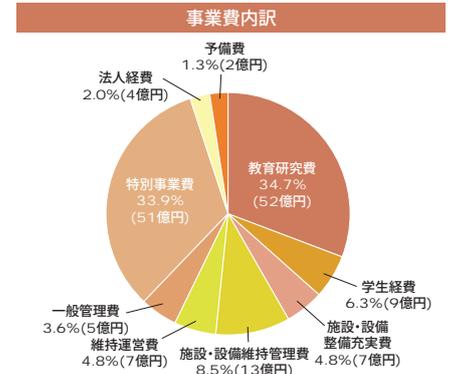
(単位:千円)

事業項目	予算
人件費	(16,748,530)
事業費	(15,039,300)
基本金・準備金	(1,699,610)
財務費	(928,670)
減価償却額	(3,141,970)
支出の部合計	[37,558,080]

事業項目	予算
教育研究費	(5,220,790)
研究費	1,541,490
研究所経費	117,840
実験実習費	683,840
教育研究援助費	544,740
情報処理教育研究費	844,470
学術情報整備充実費	401,320
国際交流関係費	137,020
入学試験経費	482,690
教学事務運営費	467,380
学生経費	(946,160)
奨学援助費	436,410
学生生活助成費	375,810
学寮費	133,940
施設・設備整備充実費	(715,980)
施設・設備整備充実費	715,980
施設・設備維持管理費	(1,282,530)
施設・設備等維持管理費	1,282,530
維持運営費	(721,020)
通信費・光熱水費	721,020
一般管理費	(548,810)
一般管理費	425,650
教職員福利厚生費	123,160
特別事業費(建設事業等)	(5,098,170)
法人経費	(305,840)
予備費	(200,000)
事業費小計	[15,039,300]

事業項目	予算
第2号基本金組入額	(1,500,000)
教学施設整備資金	1,200,000
情報基盤整備資金	300,000
第3号基本金組入額	(0)
第4号基本金組入額	(186,000)
翌年度基本金組入額繰延額	(12,220)
前期末未払金	(0)
特定支出準備金繰入額	(1,390)
基本金・準備金小計	(1,699,610)

事業項目	予算
借入金等返済支出	(352,880)
借入金等利息支出	(80,200)
資産処分差額	(0)
徴収不能引当金繰入額	(45,590)
繰入金	(450,000)
財務費小計	[928,670]



事業費内訳計 150億円

入試雑感

2月に初めての出張に出かけました。「出前」入試のため名古屋へ。名古屋コーチンやみそ豚カツなど美食の1週間でしたが、面白かったのはそれだけではありません。いろいろな意味で興味深く、得るところの多い出張になりました。理念的なこと(受験生が皆等しい環境で入試を受けられるようにするための対策と整備、特殊なケースへの対応など)から、細かい事務的な作業(指サックの使い方や用紙の素早い数え方など)にいたるまで、職場の先輩にいろいろと親切に教えてもらい、管理と事務の奥深さを身をもって経験することができました。ここで、名古屋班の皆様にあらためて感謝を申し上げますと思います。どうもありがとうございます！

入試業務を行いながら、もう一つ面白かったことは、「悪名」高い日本の大学入試を現場で目撃できたことです。「悪名」高いというのは、80年代、90年代、つまり私の学生時代に、ドイツのマスメディアでは日本における「受験戦争」「受験地獄」がしきりに報道されていて、高校卒業後、大学

入試というシステムがないドイツの大学にすんなりと進学した私にとって、日本の教育システムに疑問を抱かずにはいられなかつたからです。ところが、今は考え方が少し変わってきました。それは、ドイツの大学が大きな問題に直面しているからです。平等と機会均等という理念に基づいて、高校卒業という資格さえあれば、授業料なしで自由に誰でも大学で勉強できることは、ドイツの戦後社会の誇るべき制度の一つでしたが、今ではもうこのシステムはもはや袋小路に入り込んでいます。まともに勉強するつもりのない学生がどんどん大学に流れこみ、学生割引を利用しながら自由な学生生活を楽しき、難しいと評判の卒業試験を回避して、なかなか大学を卒業しようとしなのが現状です。しかも、失業率の高いドイツでは、大学を卒業してもすぐ就職できるわけではありませぬ。フリーター兼大学生という身分は多くの若者にとつて、手ごろな逃げ道になつていっているわけです。その結果、大学は財政難と質の低下という問題に直面

しています。対策として、ドイツでも最近入試と授業料の導入が議論されるようになってきました。

名古屋の入試会場には、かなり張り詰めた雰囲気か漂っていて、受験生の緊張がじわじわと伝わってきました。試験終了直後、受験生の顔は「うまくいったかな」と少し不安そうな表情でした。でも、すぐにほつとした気持ちと穏やかな満足感を表す顔に変わりました。きっと、試験のために頑張つて勉強した成果が発揮できたのでしよう。そこで私は、やはり、ドイツでも大学への敷居をもう少し高くして、大学を逃げ道ではなく、頑張つてめざすものとして位置づけ直す必要があると思うようになりました。もちろん、日本の入試制度は子どもに強いプレッシャーと負担を与えているし、入試が無事に終わつたら、勉強に対する意欲が低下するといったマイナス面は否めませぬ。でも、だんだん質が低下しているドイツの大学にとつては一つの改善策になるのではないかと思います。

ところで、私自身は受ける側としても、受けさせる側としても、基本的に試験が好きです。受ける側としては、目標が与えられ勉強の励みになるからです。受けさせる側として私が特に好きなのは、学生が自由に選んだテーマについて5分間、

私とドイツ語で会話するという設定のドイツ語の会話試験です。将来の抱負や旅行の経験を語ったり、専攻で学んだことを説明したり、今まで担当してきた同志社の学生は、いつも一生懸命に面白い話を聞かせてくれます。一番忘れがたいのは、日本の習慣について(お見舞いに行くときは、どんな花はだめなのかなど)、ドイツ語でクイズをして私をぎやふんと言わせた学生です。これからも、同志社の学生と一緒に試験をするのを楽しみにしています！



言語文化教育研究センター
専任講師

ベティーナ
Bettina
ギルデンハルト
GILDENHARD

1971年、ドイツ・テュービンゲン市生まれ。
ドイツ・ハイデルベルク大学で博士号取得。
専門はドイツと日本の近現代文学。

CAMPUS NEWS

キャンパスニュース

日本機械学会関西支部
2004年度関西学生学生会生員
卒業研究発表講演会でBPAを
受賞



3月17日、松本匡史さん(大学院工学研究科機械工学専攻博士課程(前期課程)1年次生・写真左)が、日本機械学会関西支部が主催する2004年度関西学生学生会生員卒業研究発表講演会においてBPA (Best Presentation Award)を受賞した。

昨年度、松本さんは工学部構造工学研究室に所属し、藤井透教授の指導のもと、「長機長コンベヤの一本のローラに生じる乗り越え抵抗力を評価する試験機の開発」をテーマに卒業研究に取り組んでいたが、その発表が認められ、参加者約360人の中から今回の受賞となった。

「企業からの委託研究の1つとして、ベルトコンベヤを構成する1個のローラがベルトと接触する際の抵抗力を減らす研究のための試験機を開発しました。学部生にとって、企業との共同研究には戸惑うことも多

かったのですが、藤井先生に叩き込まれた材料力学の知識と、院生の先輩からの的確な助言のおかげでやり遂げることができました」と振り返る。同じ研究室の仲間が自動車学会での発表で表彰されたこともあり、彼に負けじと研究に没頭した。「研究発表の直前に予行演習を行ったところ、ポイントを絞り切れてないと先生から指摘を受けました。4年次の1年間、この賞を獲得するために頑張ってきたので、欲張って研究成果をつい詰め込みすぎていたのです。本番では要点を絞った発表ができ、しかも、狙っていた賞をいただいたので本当にうれしいですね」とふり返る。大学院に進学した現在は、研究室の後輩である荒津有希さん(写真右)らと協力し、「長機長コンベヤにおけるベルト構造の最適設計」の研究に移行。「卒業後は企業の開発部門で活躍したいですね」と夢を語る。



ローム記念館プロジェクトの
活動について
—ローム記念館大賞等—



2004年度から、企業との共同で行われる誘致プロジェクト8、学生公募プロジェクト2、コアプロジェクト1の合計11のプロジェクトが活動した。いずれのプロジェクトも大学、女子大学の学生が多数参加しており、プロジェクト主義にもとづく新しい試みにチャレンジした。3月5日には、1年間の成果報告会がローム記念館劇場空間で開催され、学生が活発な報告を行った。初年度にもかわらず、どのプロジェクトも予想以上のハイレベルな成果で、学生たちの達成感も大きかったようだ。

3月18日には、学生コアスタッフが企画から運営まで行ったローム記念館大賞発表会を行い、1年間のプロジェクト活動を振り返る映像放映やマジックショーを交えた

演出があり、華やかな雰囲気の中で各賞の発表とトロフィー等の授与が行われた。

2004年度のローム記念館大賞は、「e-Learning」教材の開発とインフォテール基礎研究(萬世電機(株)チーム)が受賞。「新撰組の素顔」幕末の閃光のごとく輝いた隊士」「これだけはおさえない源氏物語のツボ」謎の宇治十帖に迫る」2つの生涯学習コンテンツ製作と産(萬世電機)官(京都府・宇治市・城陽市・久御山町)学連携によるプロジェクトの実施が高く評価された。優秀賞には、「こんなん欲しかつてんキャンパスツール」(ファイナルメーカー(株))と「D・U・R・Pレスキューロボットプロジェクト」(学生公募)が、特別賞は、「MS・Colabo」(マイクロソフト(株)・デジット(株))が選定された。

2005年度のプロジェクトがすでにスタートしており、学生らしいアイデアによるプロジェクト成果が楽しみである。なお、各プロジェクトでは随時参加学生の募集をしているので、多くの学生参加を期待したい。

ローム記念館プロジェクトの問い合わせは、ローム記念館事務室(京田辺校地総務課)まで。

TEL: 0774-65-7800
 FAX: 0774-65-7009
 e-mail: jr-ohm@mail.doshisha.ac.jp
 ローム記念館のHP:
<http://rohm.drn.doshisha.ac.jp/>

高田延彦氏が京田辺校地で講演



4月18日、元プロレスラーで現PRIDE統括本部長の高田延彦氏を招いて、京田辺校地多目的ホールで新入生歓迎特別講演会が開かれた。詰めかけた学生から、「高田コールで迎えられ登場した高田氏は、格闘技のために突っ走ってきた私の半生を語ることで、皆さんの人生に何か良い影響を与えることができると思います」との言葉で講演を開始した。中学2年生でプロレスラーをめざした高田氏は、15歳の若さで新日本プロレスリングに入門。その後独立し、従来のプロレスとは一線を画すスタイルの新団体を設立し、脚光を浴びた。団体解散後は、ボクサーや柔術家らと異種格闘技

試合を行い、人気格闘イベント「PRIDE」へと発展させた。「格闘技史上最強」といわれたヒクソン・グレイシー選手との2度にわたる対戦については、「最初の対戦では彼の経歴を意識するあまり、試合前から気持ちで負けていた。2度目の対戦では精神面の弱さを克服し、良い試合ができたと思う」と回顧し、「困難に立ち向かう」

かう気持ちは、ファイターに限らず、学生の皆さんも忘れないでほしい」と学生を鼓舞した。

質疑応答の部では、学生から寄せられた質問の一つひとつに回答。「お前は男の中の男だ!」など、おなじみの決め台詞も飛び出し、会場は歓声に包まれた。

最後に高田氏は「自分の理想とするところに到達するまでには、必ず高いハードルがある。そこが限界だと思ってしまうことなく、PRIDE出場選手たちのように強い意志をもって乗り越えてほしい」と締めくくった。

同志社大学の募金事業について

本学では従来から、教育研究活動の拠点となる施設設備を整備するために「教育研究施設等整備資金募金」を行ってまいりました。加えて昨年度から、寄付金を基金に組み入れずに直接学生に給付する特定寄付奨学金制度のための資金を募る「奨学金資金募金」を創設しました。これらの募金事業に対しては、ご父母、卒業生、法人、教職員など多方面からご協力をいただき、集まった資金を活用して所期の事業を滞りなく実施す

2004年度 募金事業実績報告

募金事業	寄付件数および金額	使 途
教育研究施設等整備資金募金	在学生父母 568件 60,165,000円	2004年度に実施した臨光館(新町校地)、夢告館および恵喜館(京田辺校地)等の施設整備資金として活用 (建設事業の詳細については、学校法人同志社発行「事業報告書2004」に記載しています)
	卒業生、一般 41件 32,535,000円	
	計 609件 92,700,000円	
奨学金資金募金	卒業生 85件 2,287,620円	2004年度に実施した特定寄付奨学金給付の資金として活用 給付件数27件、給付総額8,100,000円 残額は2005年度の同奨学金資金として繰越
	一般、法人 6件 4,310,000円	
	教職員 106件 10,835,000円	
	計 197件 17,432,620円	

ることができました。これもみなさまがたの深いご理解の賜物と、厚く御礼申しあげます。2004年度の募金事業の実績についてご報告いたします。

なお、3月末までに、卒業生および教職員の方々から以下のとおりご協力をいただきました。

2004年度協力者ご芳名(2004年11月6日～2005年3月申込分 50音順 敬称略)

卒業生、ご父母、一般
500,000円 匿名 1人

300,000円 清水 澄

100,000円 堂前 志津男
匿名 1人

50,000円 武藤 善美
匿名 2人

30,000円 福谷 政行

22,400円 同志社京田辺OB会

20,000円 大友 有介

10,000円 川野 修平
匿名 1人

5,000円 池田 稔
岩本 憲彦
上西 勝

匿名 1人 佐々木 宣行

教職員
500,000円 大谷 實
野本 真也
八田 英二

300,000円 渡邊 信一

100,000円 一ノ瀬 琢美

80,000円 匿名 1人

50,000円 植田 弘
植田 瑞枝
中村 サチ子
山内 信幸

10,000円 匿名 1人

*教育研究施設等整備資金募金のご芳名につきましては、別途芳名録を作成しご寄付いただいた方々にお送りしています(年2回)。

高度化かつ多様化する社会の要請に応

えるため、教育研究環境については一層の整備充実を図っていかねばなりません。また、災害や疾病等で学費支弁に窮した学生を救済する奨学金制度は、将来にわたって維持拡充していく必要があります。本年度以降も社会各界に対し、継続的に呼びかけを行ってまいりますので、本学の教育研究および学生支援体制を支える募金事業について、引き続き温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

お問い合わせ先：財務部経理課

TEL: 075-251-3144

e-mail: jikeiri@mail.doshisha.ac.jp

卒業生の新刊図書

『三国志一』四

渡辺 仙州さん 編著(2000年工学研究科修了)

借成社 各1600円(税別)

『三国志 早わかりハンドブック』

渡辺 仙州さん 編著(2000年工学研究科修了)

借成社 1000円(税別)

『白蛇伝』

渡辺 仙州さん 編著(2000年工学研究科修了)

借成社 1600円(税別)

『私立大学倒産時代における再建手法と破産処理についての研究』

岩崎 保道さん 著(2002年総合政策科学研究科修了)

ジアース教育新社 2100円(税込)

『チャールズ・ジエネズー《メサイア》
台本作家の知られざる功績』

赤井 勝哉さん 訳 ルース・スミス著
(1991年文学研究科修了)

聖公会出版 2800円(税別)

本学教員の新刊

(総合情報センター調べ)

日本の会社法(新訂第7版)

川口 恭弘 森田 章 他 著 商事法務 3500円

MINERVA西洋史ライブラリー64:古代ギリシア史
における帝國と都市:ヘルシデアテナイニスバルタ

中井 義明 著 ミネルヴァ書房 6000円

新島襄の交遊:維新の元勳・先覚者たち

本井 康博 著 思文閣出版 2800円

『科学を超えて:自然・人間・心の風景』

山下 正和 西村 理 原誠 著 晃洋書房 2400円

アメリカ日本人移民の越境教育史

吉田 亮 著 日本図書センター 2200円

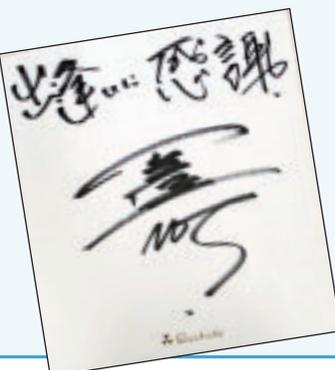
職務発明

土田 道夫 井関 涼子 他 著 有斐閣 3800円

アメリカ 文学史・文化史の展望

佐々木 隆 他 著 松柏社 3600円

Present For You 大八木淳史さんのサイン色紙をさしあげます。



元ラグビー日本代表で神戸製鋼での日本選手権7連覇に貢献した大八木 淳史さん(1985年商学部卒業・体育会ラグビー部OB)は、2005年4月から、再び本学の大学院生として総合政策科学研究科で学んでいます。『アエラ』(朝日新聞社発行)の連載広告「同志社からの道」取材時にサイン色紙をいただきました。ご希望の方は、ハガキかE-mailで住所、氏名、学部(卒業生の方は出身学部と卒業年)、「One Purpose」の感想をご記入のうえ、2005年6月30日(消印有効)までに広報課にご応募ください。抽選のうえ、3人の方にプレゼントします。当選の発表は発送をもってかえさせていただきます。

※広報課の連絡先は裏表紙に記載

同志社人訪問

声優 山崎和佳奈さん



黒川 ●山崎さんは工学部※工業化学工学科のご卒業だそうですね。

山崎 ●ええ。同志社女子中学・高等学校で理科を教えていただいた先生の影響で、化学に興味を持ちました。取っつきにくい分子式をユーモアを交えてわかりやすく説明してもらいました。

黒川 ●在学中はどのような研究をされていたのでしょうか。

山崎 ●有機化学の研究です。卒業論文は「アルコキシカルボニルテトラカルボニル鉄酸塩とエボキシンドの反応」です。いまだにタイトルだけは覚えていますが(笑)。もうお亡くなりになられた末光力作教授の研究室にお世話になりました。白髪が特徴のまるで漫画から抜け出したような個性の持ち主で、熱心に指導してくださいました。工学部にしては女子学生の割合が多い研究室で、明徳館地下の食堂に集まってはわいわいと楽しく過ごしていました。

黒川 ●演劇に興味を持たれたのはどうしてですか。

山崎 ●宝塚歌劇を観たのがきっかけです。中学校、高等学校と演劇部に所属し、そのまま大学でも続けようと思っていました。が、縁

山崎 和佳奈さん
【1987年工学部工業化学工学科卒業】

神奈川県横浜市生まれ。俳優養成所青二塾大阪校の第5期生。1991年声優デビュー。「名探偵コナン」(毛利蘭役)、「ひみつのアッコちゃん」(加賀美あつ子役)などのアニメーションに出演する他、「サンデー・ジャポン」等のナレーション、ラジオパーソナリティや舞台女優としても幅広く活動する。青二プロダクション所属。



あつて辰巳琢郎さんが座長を務めていた「卒塔婆小町」(とばこまち)にお世話になりました。初舞台は、生瀬勝久さん(1986年文学部社会学科産業関係学専攻卒業)の相手役でした。
黒川 ●卒業後も劇団に残ろうとは思わなかったのですか。

※現在の機能分子工学科

山崎 ●稽古や公演に忙しい劇団でしたので、劇団員の多くが卒業できずにいました。私は両親に負担をかけたくないので、なんとか4年で卒業し、卒業後はソフトウェア開発会社に就職しました。その就職には理由がありました。平日は働き、土曜、日曜は俳優の養成所に通うというプランを立てていたからです。養成所を卒業して、声優として物になるようならその道へ進もう、もし駄目だったら諦めて会社員を続けよう。

黒川 ●俳優ではなく、なぜ声優だったのですか。

山崎 ●当時、私たち劇団員は深夜のラジオ番組に出演していましたが、ラジオ局に置いてあった養成所のチラシをふと目にして、声優という職業の存在に気付きました。幼い頃から「宇宙戦艦ヤマト」などのアニメーションが好きでしたし、私の声を聞いて声優になることを勧めてくれる人もいました。ただ、私の基礎にあるのは演劇でしたから、演劇を続けながら声優の仕事で食べていけるようになるのが理想でした。

黒川 ●演劇への興味が薄れたのではなかったのですか。

山崎 ●はい。演じるという行為には様々な表現方法がありますが、制約のある表現方法に面白さを感じていました。例えば、声を出さずに動作と表情だけで芝居をするパントマイムがそうですね。その逆が、声だけで演技をする声優というわけです。

大阪の養成所には2年間通いました。卒業実際に養成所のオーディションがあり、合格すると東京の事務所にシユニアという立

場で仮所属することができず。無事合格することができたので、会社を辞め、声優の世界に飛び込む覚悟を決めて東京にやってきました。その後も、約1年間のレッスンを受け続けました。

黒川 ●声優になるためのレッスンとは、どのようなものですか。



山崎 ●意外に思われるかもしれませんが、

養成所の段階までマイクの前で声を出すという訓練はありません。台本をもらって芝居を勉強したり、歌やダンスのレッスンをしたりしました。正しい日本語のアクセントも練習しました。声優とはいえ、演技ができることが基本だからです。大学時代に舞台上がっていた経験は、大いに役立ちました。

黒川 ●出演依頼はすぐに来たのですか。

山崎 ●なかなかそうは行きません。シユニア所属になって半年ほど経って、ようやくカセット文庫「天と地と」の出演依頼をいただきました。その頃は、ギャク背景でざわつく声のような簡単な収録からナレーション、司会進行まで様々なことを経験しました。その中から、どの分野が向いているかを探っていくわけです。私は劇団にいた頃から「君がやると子どもっぽくなる」「アノ声だね」と言われ、演じた役も人間以外の役が多かったような気がしますが(笑)、やはりアニメーション向きだったのかもしれない。声は当時からほとんど変わっていませんね。

黒川 ●声質を維持するために、何か特別なことをされていますか。

山崎 ●特に何もしていませんが、ただ、風邪の引き始めには注意しています。喉に來ないうちに治さないといけませんから。声優の仲間うちには、信頼できる病院やお医者様の情報がごそり回っているのです。

黒川 ●初めての収録では、どのようなお気持ちでしたか。

山崎 ●台本を手にした瞬間、この作品が世に出るのだなあとと思うと、とても感慨深いものがありました。養成所でレッスンを受けていたとはいえ、本番ではやはり緊張感で押しつぶされそうでした。収録ではシーンに合わせて2、3本のマイクを数人の声優さんが代わる代わる使いますが、最初はどのマイクに向かって立てば良いのかわからない。「今はこの人、次は誰で、その次が私…」などと、マイクに近づくとタイムングを考えるだけで精一杯でした。

黒川 ●ところで、山崎さんといえば、やはり「名探偵コナン」の毛利蘭役のイメージですよね。僕が小学生の頃、少年誌で人気だった漫画がアニメーションになると知ってワクワクしたのを覚えています。コナンの収録はどのような雰囲気なのですか。

山崎 ●テレビ放映がスタートしたのは1996年ですから、足掛け10年になります。10年もの間、ずっと高校生を演じることになるなんて、当時は思いもしませんでした。収録は、お菓子をつまんだりしながらの和気藹々とした雰囲気で行われます。同じ声優やスタッフとこれだけ長く続けていると、みんなが家族のように感じられてきます。コナン役の高山みなみさんとは、仕事以外でも仲良くしていたいです。

黒川 ●配役はどのように決まったのですか。

山崎 ●私はオーディションで選ばれました。会話の1シーンを手渡され、セリフのやりとりを行います。「名探偵コナン」のように原作があればよいのですが、オリジナルアニメーション作品のような場合は、キャラクターのイラストと、年齢や性格などが書かれた資料だけを頼ることになります。声を出す時、スタッフから「もう少し年齢を上げて」とか「キャピキャピとした感じで」などの指示が飛びます。その指示を受け、自分なりのアレンジを加えて演じてみるのです。声の決め手は「こういう顔なら、この声だ」という第一印象です。時間をかけて役づくりをする演劇作品とは異なる点ですね。

黒川 ●これまで演じた中で、特に印象深い



役はありますか。

山崎 ●「蘭ちゃん」(「名探偵コナン」の毛利蘭)とは長い付き合いですから、やはり私にとつての特別な役回りですね。他に、アニメーション作品「マレード・ボーイ」の秋月若子役にも思い入れがあります。彼女は少し大人びた高校生なのですが、多感な時期に辛いことがあつても懸命に生きていく姿に、演じている自分自身が励まされました。

黒川 ●漫画に詳しい友人に聞くと、テレビを見ていて「漫画のイメージと声が合わない」と思う人も中にはいるようです。

山崎 ●そうかもしれませんね。それが私たち声優にはプレッシャーになります。アニメーション作品「ワンピース」で、ナミという女の子の声を演じる岡村明美さんが産休を取られることになり、3カ月間だけ代役をしてほしいという依頼がありました。声質が違ふのになぜ私なのかと不思議に思っていたところ、スタッフから「妹のピンチを姉が救うのは当然でしょう」と告げられました。私は、同じ作品でナミの義姉、ノジコ役を演じていたのです。思わず笑ってしまいました。



視聴者に違和感を抱かせてはいけません。ビデオを繰り返し見て、彼女が作ってきた「ナミ」という役を研究し、なんとか切り抜けることができました。

黒川 ●声優という特別な職業に就き、それを続けていくことに不安はありませんでしたか。

山崎 ●会社勤めという安定した身分を捨てて上京した時は、正直不安だらけでした。でも、いつかは何とかなると前向きに考えてきました。デビュー後もアルバイトをしながら生活していたこともあり、まだプロ意識が足りなかったように思います。声優の仕事が増え、徐々にアルバイトの時間が減つてくると、ようやく「プロ」として取り組もうと思えるようになりました。声優は、仕事をいただいはじめて成り立つ仕事です。演出家の要望に100パーセントお応えしたいと言えば大げさかもしれませんが、役ごとの完成度を上げていこうとするのがプロだと思います。そういう意味では、職人のようだと感じています。そのようにして取り組んだ作品に、面白かったと感想を言ってもらえることが何より嬉しいです。

黒川 ●今後、挑戦してみたいことはありますか。

山崎 ●テレビ番組のナレーションや、洋画の吹き替えには興味を持っています。それに、たまには演劇の舞台にも立つてみたいです。ね。声優の仕事は1回の収録にあまり時間をかけられないので、瞬発力が求められると思います。舞台では長い稽古期間にいろいろな発見があつて、身体は辛いけど、やはり楽しいものです。

これまでも、いただいた仕事一つひとつが何かの縁だと思つて、大事に取り組んできました。これからも、自分でも観てみたいと思える作品に巡り会えればいいなと思っています。

黒川 ●最後に、先輩の私たちにメッセージをいただけますか。

山崎 ●振り返ると、大学の4年間はいい思い出ばかりです。多くの人と知り合い、刺激を受けて、勉強の面でも演劇の面でもたくさんのお話を吸収できました。こうしたことは、人生のどこかできつと役立つと思います。皆さんも失敗や挫折を恐れず、興味を抱いていることに積極的に挑戦してみてください。今を大切に生きること、これが若さの特権なのですから。

黒川 ●これからもご活躍を楽しみにしています。本日はありがとうございました。

INTERVIEWER

夢を実現するために必要なプロ意識を教わりました。



黒川 陽平さん

【経済学部経済学科2年次生】

和歌山県出身。小学校時代からSFアニメーションに興味を持ち、同志社大学SF研究会に所属。研究会ではSF小説の感想や批評を語りあふ読書会、会誌の執筆などを行う。夢を実現するために頑張る友人の姿に触発され、税理士資格やビジネスの基礎となる簿記の勉強を始めた。

「名探偵コナン」を知ったのは小学生の頃でした。以来毎週楽しみに観ていたアニメの声優さんが、実際に目の前にいることが信じられませんでした。その後、私がアニメーションというものに本格的に興味を抱くようになったのは、「新世紀エヴァンゲリオン」との出会いからでした。複雑で奥の深いその世界観は、サークルの中でも議論の対象になっています。山崎さんが出演された中でも難解な設定の作品があり、山崎さんご自身も悩みながら演じておられるというお話を興味深く聞きました。好きなことを職業にするために努力を重ね、プロ意識を忘れない山崎さん。僕の夢はエネルギー関連事業に携わる仕事に就くことですが、夢の実現に向けて、山崎さんのように目標に向かって一歩一歩進んでいきたいと思っています。

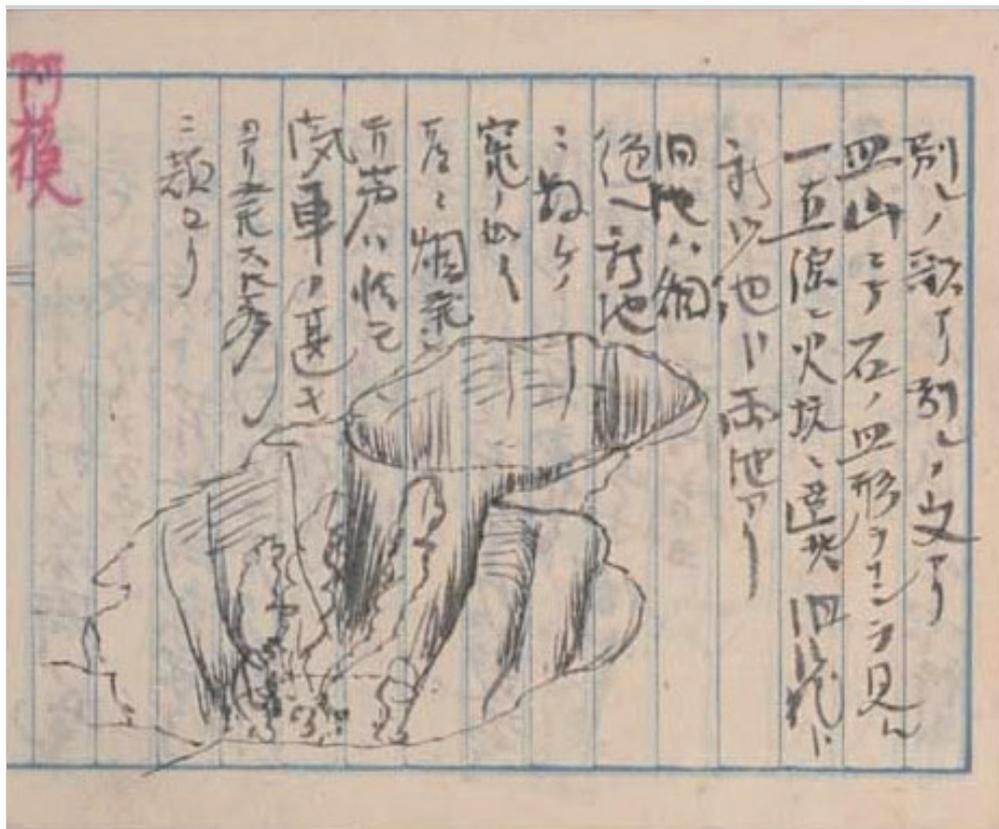
新島襄の旅した風景

中九州編

「熊本バンド」の里めぐり

文と写真

本井 康博



新島襄の旅日記(1880年11月15日の条)。阿蘇山火口の「其声ハ恰モ汽車ヨリ発スル声ノ甚キニ類セリ」とある。(同志社史資料センター所蔵)

久留米から熊本へ

新島襄は1880年、九州へ2度目の出張をした。10月に出発、12月に帰宅という長旅であった。主たる目的は、博多伝道中の不破唯次郎を始め、教え子の「熊本バンド」の訪問、応援ならびに地方伝道であった。

激務の間を縫うようにして芥屋大門や太宰府へしばしの行楽をしたことは前回(No.14)で紹介した。けれども実はその間、約1カ月、北九州を離れて、熊本を巡っていた。

すなわち、新島は太宰府見物後、11月1日に久留米に向かった。同地の福堂屋で1泊した翌朝、5時には宿を出た。日記には、「天気ハ殊ノ外ヨシ」とある。昼食は南関であった。「此所ハ素麵ヲ物産トス」と記すので、好物のソバ代わりに食したもののか。

その日は、高瀬(現在の玉野市)の松ノ井という宿に入った。久留米から14里の行程であった。12時間前後の長旅、それも終日、徒歩か。翌日、高瀬川を渡ったあと、「古戦場」を見物している。田原坂である。「坂道ニシテ殊ニ長シ。双方ニ高キ土手アリ」。

田原坂

わざわざ道を曲げてでも、3年前に終わったばかりの西南戦争の傷跡をこの目で見たかった。同志社からも山田亨(新島と同郷の安中出身)のような学生が参戦していた。戦場の傷跡は生々しかった。「此辺ノ人家ハ尽ク焼失」し、「唯一軒ノ住家ト土蔵一個ノミ存ス」という惨状であった。残ったとはいえ前者の民家は柱が8本破裂し、後者の土蔵は「幸ニ火災ヲ免カル、モ、砲丸ノ痕大小数十ヲ以テ数フ」という有様であった。



復元された弾痕の蔵(田原坂資料館)

西南戦争の激戦地、田原坂に立つ白石の戦争記念碑



土蔵は後に取り壊されたが、現在、原形通りに復元され、観光名所(田原坂資料館)となっている。近くには西南戦争記念碑が立つ。新島は、「八代ノ白島ノ白石」で記念碑を建てる工事現場に遭遇し、「礎石八半ハ落成セリ」と記す。新島が見た白石は、今はさすがに往時の輝きを失くしている。それにしても西南戦争に対する新島の関心は高い。現地情報を収集したり、旅日記に戦場跡略図まで描くほどの熱の入れようである。「西南暴動ノ略話」も結構詳しい。

熊本へ

植木を経て、熊本着は3日の午後1時であった。洗馬3丁目山城屋に宿をとった。翌日、卒業後、帰省していた下村孝太郎(熊本バンド)や坂井庄八らと水前寺公園を見物した。さすがに「県下ノ名勝」は「実ニ幽邃

移築されたジェーンズ記念館(旧熊本洋学校外国人住宅)



熊本滞在はわずか1日である。熊本洋学校(L・L・ジェーンズの住んだ教師館が、古城内にあつたはず)や花岡山に行った形跡はない。後者は「熊本バンド」発祥地であるばかりか、西南戦争の際にも戦場となつた由緒あるスポットだけに、新島が横目で通り過ぎるとは理解しがたい。現に、彼は日記に西南戦争時、「西郷ハ花岡山アリ」とか、「花岡山ニ陣ス」とわざわざ記すほどである。



「熊本バンド」が「奉教趣意書」に署名した花岡山に立つ「奉教之碑」

ナル所」と感嘆している。とりわけ「水清キ事無比」と絶賛する。

八代

11月5日、坂井庄八をガイドを立てて熊本から八代に入った。熊本と相違して5連泊した。宿は本町満島屋である。その所在地に関して八代図書館に調査を依頼したところ、「土地の古老によれば、今のユウキビル(本町1丁目10の3)」という。現地を訪ねてみたら、本町アーケード街の1丁目で、1階が「豊文」という食堂で

で伝道集会を開催し、市民に向けて「耶蘇教の因つて起りし事」を説いた。翌日夜も開催し、「耶蘇の人となり」などを論じた。8日は再度、小学校で「愛人論」を講演し、夜は三度、亀山集会で「耶蘇の愛」を語った。前者の参加者は120〜130人に増えた。幸い、小学校での2度の講演草稿はいずれも現存する。初回の講演題は「学問之説」とある。

最終日には10人ほどで「麓山」に登り昼食をとった。小学校の「教員五人来ル」と新島が記すので、新島の講演が彼らに感銘を与えたことが窺える。この日は折悪しく風が冷たかったので、食後たたちに松葉をかき集めて焚き火をし、暖をとった。

この麓山は古麓山(140m)と思われる。今は古麓歴史自然公園と

新島の宿舎跡、豊文(八代市)



あつた。この宿で新島は当地出身の「熊本バンド」、亀山昇や上原方立ちの家族と面談した。

翌6日には早速、小学校で「教育論」を講演した。聴衆は1000人ばかり、なかでも少年が多かった。同校は現在の代陽小学校で、市内最古の伝統校である。夜には亀山家



新島が講演した代陽小学校(八代市)



岡田松生の実家跡、現肥後銀行鏡支店(鏡町)

11月10日、新島は八代を去り熊本へ戻った。途中、鏡村に岡田松生(熊本バンド)の実家を訪ね、2時間ほど滞在。昼食を馳走された。「鰻ノ味殊(美ナリ)」。ただ岡田自身は長崎行きで不在であった。岡田家の跡は現在、県道脇にある肥後銀行鏡支店と思わ

鏡

して整備され、市民の憩いの場となっている。真下を九州新幹線のトンネルが貫通する。
八代最後の9日は、有志数名のほかに、上原の母と宇野(吉田作弥)の母が訪ねてきた。後者(後に外交官)も「熊本バンド」である。

遠山参良の墓(鏡町)



岡田は第1回生として同志社を卒業後、新島の推薦により東京の学農社(津田仙が創設)の学校で教鞭を執った。その傍ら、「熊本バンド」の小崎弘道を牧師に招いて教会(今の霊南坂教会)の創立に尽力した。新島が鏡の実家を訪問した時は一時帰省していたのか。いずれにせよ、岡田はこの2年後、老齢の父親を世話するため東京から鏡に引き揚げ、当地で鏡英語学校を設立した。
生徒の一人が遠山参良(後に九州学院初代院長)である。実は、彼は熊本洋学校廃校後、岡田に連れられて同志社に学んだが、中退して帰省した。地元では、今では岡田よりも遠山の方が知名度が高く、その墓は町の観光地図でもマークされ、現地には案内板も立っている。

11日、新島は熊本から阿蘇谷へ向かった。道中、大津の今坂屋で1泊。翌日は約石で昼食をとり、夜にようやく阿蘇谷に着く。宮地や西町で宮川経輝、市原盛宏、蔵原惟郭ら「熊本バンド」の実家を訪問し、「西之町小学校」で講演もした。宮川家が神官を務めた阿蘇神社は小学校から近いが、見物したのだろうか。
15日、宿所の蔵原家を発つて、阿蘇山に登る。火口(旧池と新池)を見物し、スケッチに留める。下山時、鉱物大好き人間・新島は、皿山で「皿石」も見物。この日は阿蘇縦断4里の行程で、南郷谷(南阿蘇)の



皿石(JR阿蘇駅)

トロッコ列車も走るのでかな中松駅(無人駅、南阿蘇鉄道)

阿蘇山



中松まで歩いて教え子(熊本バンド)、赤峰瀬一郎の実家の客となった。もちろん、同家でも伝道集会を開いた。
熊本に戻ったのは17日で、唐人町伊勢屋にしばらく滞在した。20日に安己橋通りの伊藤宅で講演「人種改良論」を披露した。草稿には「九州ハ士人ヲ養フノ地ナルヲ信スル事ヲ述ヘン」との注記がある。
ところで、海老名弾正の出た柳川や、同志社を中退したばかりの徳富蘇峰・蘆花兄弟の実家がある水俣には、なぜか行った気配がない。29日に久留米、30日に博多に戻り、同港から帰途に就いた。
2カ月に及んだ「熊本バンド」の里巡りはこうして終わった。
(神学部教授)



阿蘇神社前の宮地駅(JR豊肥本線)から見た駅前風景

MY LIFE

「仕事」

MY JOB
MY LIFE

ゲスト
お客様の笑顔を糧に、
西日本エリアの営業を
一手に担う。

人の心を癒す臨床心理士に憧れ、大学では心理学を専攻しました。心理学は領域の広い学問ですが、ある授業で「笑顔が身体に良い影響を与える」という興味深い話を聞いたことで、顔の表情や空間が人間に及ぼす影響等といった非言語コミュニケーションを中心に学ぶようになりました。3年次には国内留学制度を利用して早稲田大学に行くことができ、ますます心理学の魅力にとりつかれました。東京での1年が終わりに近づき、周囲が順調に就職活動をスタートさせた頃、私は心理学を通して社会に貢献できる仕事を

こんなに話し上手になっていた。
英語でビジネス文書を書いていた。
卒業生を訪ね、仕事を求め、仕事を通して
級友の方々にとっては良き近況報告、
生活の現実を考える機会になれば幸いです。

めざし大学院に進むべきか、それとも一般企業に就職するかで迷っていました。そんな折、たまたま東京デイズニードに遊びに行く機会がありました。そこは、一歩入ればキャスト(従業員)もゲスト(お客様)もみんな笑顔。心から楽しんでいる姿に気づき、驚きました。このような空間を作り出せるのは、いったいどんな企業なのだろう。私の興味はその点に移り、就職を決定するに至りました。

入社後の1年間は、千葉県舞浜の本社に勤務。企業、官公庁などを対象に営業活動を行いました。その後、大阪に転勤となり、沖繩を含む西日本全域の営業担当として勤務しています。首都圏のお客様はパスポート(チケット)さえあれば比較的容易に来園していただくことができますが、西日本からとなると「旅行」での形態でのご来園になります。そのような条件のもと、旅行会社と様々な施策を企画し、集客の拡大を図ることが私の仕事です。自分が考えた、行動したことで営業成績が伸びることにやりがいを感じています。最近では個人のお客様の他に、学校団体の集客にも力を入れています。以前は「遊びの施設」だという理由で学校行事での来園を認められていない地区もありましたが、「遊びから学べることは多いのでは」と訴えてきた



ことが少しずつ成果に現れていると考えています。5〜10年前には違っていたことかもしれませんが、社会の風潮の変化とともに、私どものパークに対する学校団体の認識も変わってきたことを肌で感じることもしばしばあります。

P R O F I L E



松本 伸一郎さん
【2001年文学部文化学科心理学専攻卒業】
株式会社オリエンタルランド
営業本部営業二部西日本事務所勤務(取材時)

「東京デイズニードの事業にとどまらず、仕事を通して、多くの人に感動していただき、笑顔になってもらいたいです」と夢を語る松本さん。「ただ、学生時代にもっと英語力を磨いておけば良かったと後悔することもあります。英語の能力はあればあるほど、仕事の幅は広がります」と振り返る。仕事に打ち込む松本さんの息抜きは、ドライブや旅行でリフレッシュすることだそうです。

で日頃のストレスを発散していた。いてるに違いない」と思うと、進路で悩んだ時期もありましたが、この仕事を選んで良かったと心から感じる事ができます。私が当社にOB訪問をした際、同社社員の先輩はとても親切に対応してくれました。私も先輩には同じように接することが先輩への恩返しだと思いい、後輩の訪問を受けています。これから就職活動を始め始める皆さんも、どんどんOB・OG訪問をすればいいと思います。1人の話から企業の全貌を掴むのは難しくても、この人となら一緒に仕事をしてみたいと思うことはあるはずですよ。卒業生の皆さんも、母校の後輩たちをぜひ温かく迎えていただきたいと思います。

高校時代、カナダ留学で英語の魅力に取りつかれた私は、英文学科に入学しました。数ある科目の中でも、特にディベートの授業には夢中になって取り組みました。相手の主張を即座に理解し、どのような論理で切り返すか。こちらの主張に隙はないか。まるで頭脳ゲームのような面白さがあり、英語の力をぐんと伸ばすことができました。3年次にはロンドン大学に留学し、発展途上国の産業政策をテーマに開発学などを学びました。国際的なビジネスに携わりたいと考えていた私は、日本国内の就職活動の時期を迎えて、ロンドンで何十社という日本の企業に電話をかけました。しかし、結果は思わ



あつて最悪の事態は回避できましたが、広報は会社を代表する重要な仕事だということを改めて思い知らされた出来事でした。当面の目標は、自分の発言に責任が持てるようにもつと経験を積んで、一流の広報マンになることです。そのためには、社内から情報を集められるよう、各担当部署とのコミュニケーションを密にすることも必要でしょう。目標を達成できたら、次は世界中から部品などを買って付ける資材調達部門で活躍してみたいと考えています。

私はリクレーターとして、毎年200人ほどの学生に連絡をとります。話をしていると、知識は豊富でも、1つの事柄を徹底的に追究した経験がない人が多いように見受けられます。学生時代に何か1つ、本気になれるのを見つけてほしい。そうすれば言動に説得力が増すと思います。私の場合、それは英語を通しての出会いでした。また、一度きりの人生を有意義なものにするために、できるだけ多くの人と出会うようにしてきました。その経験が、自分の成長の糧になるのだと思います。皆さんも一瞬一瞬を大切に輝いて、悔いを残さないような学生生活を送ってください。

※現在のキャリアセター

MY JOB MY LIFE
企業の広報マンとして、責任の重さを自覚する。

入社後、配属されたのは広報室でした。主な業務はマスコミへの対応。新人が配属されるのは極めて異例だそうで、ほとんどが営業部門や財務部門など、社内での経験や実績が豊富な先輩ばかりです。そんな中、新人といえども社を代表して、取材の対応をしなければなりませんから、事業内容や400以上の製品のついでの知識はもちろんのこと、世界情勢等も懸命に学び、覚えていきました。記者の鋭い質問にうまく対応できた時は、大学で熱中したディベートの成果を実感することができました。

ある時、私の力不足から、事実と異なる記事が新聞に掲載されそうになったことがありました。技術者や営業マンの数十年にわたる苦労が、私の発言で一瞬にして無駄に終わってしまうところで、文字通り青ざめました。幸い上司の助けもあつて最悪の事態は回避できましたが、広報は会社を代表する重要な仕事だということを改めて思い知らされた出来事でした。当面の目標は、自分の発言に責任が持てるようにもつと経験を積んで、一流の広報マンになることです。そのためには、社内から情報を集められるよう、各担当部署とのコミュニケーションを密にすることも必要でしょう。目標を達成できたら、次は世界中から部品などを買って付ける資材調達部門で活躍してみたいと考えています。

P R O F I L E



えば 中村 絵葉さん

【2001年文学部英文学科卒業】
石川島播磨重工業株式会社
広報室広報グループ勤務

「海外では日本の文化について聞かれることが多いので、和太鼓でも始めようかと思っていました。しかしサークルは見つからず、結局母の薦めでヨットサークルに入部しました」という中村さんは、現在も会社のヨット部に所属する活動派だ。また、ロンドン留学中にそのリズムの虜になったというキューバンサルサは、今も続けている大切な趣味だと語る。

シリーズ MY JOB, MY LIFE

第26回 私と

学生時代、とても無口だったあの人が、
学生時代、英語の苦手だったあの人が、
このシリーズは、毎号それぞれの分野で活躍する
何を考えてきたかを取材しています。
学生諸君には将来のキャリア・プランと学生

ANNOUNCEMENT

お知らせ

第32回新島杯争奪全日本学生英語弁論大会

同志社大学ESSが主催する全国を代表するスピーチコンテストです。全国から選ばれた12人のスピーカーが、自らの考えや思い・社会に対するメッセージを7分間のスピーチに託し発表します。ぜひお越しください。

【日 時】6月19日(日) 12:00~18:00(開場11:00)
【会 場】ハーディーホール(今出川校地 寒梅館B1F)
【お問い合わせ先】新島杯実行委員長 TEL:090-7106-8840
【URL】<http://neesima-trophy.hp.infoseek.co.jp/>

プール学内一般開放のお知らせ

大学のプール(京田辺校地・屋外)を下記の期間一般開放しますので、ご利用下さい。

【期 間】8月1日(月)~31日(水)
(8月15~19日および土・日曜日は除く)
【時 間】13:00~16:00
【料 金】1人1回300円
【対 象】同志社諸学校の学生・生徒および教職員(家族を含む)
(学生証を必ず持参して下さい)
【お問い合わせ先】京田辺校地教務事務室体育係(磐上館)
TEL:0774-65-7510



ふらっと プログラム

毎週水曜日、多目的ホールでは映画上映を中心に、ライブやコンサートなどの文化プログラムを行っています。ふらっと…多目的ホールにお立ち寄りください。

【会 場】多目的ホール(京田辺校地)
【料 金】無料
【お問い合わせ先】京田辺校地学生支援課
TEL:0774-65-7410

※内容・時間帯は都合により変更となる場合があります。

- 6月 1日(水) 「竊立する個性—タテタカコ・ライブ」
出演:タテタカコ 16:45~
- 6月 8日(水) 「クジラの島の少女」(102分)12:30~、15:00~
監督:ニキ・カーロ 出演:ケイシャ・キャッスル=ヒュース
6月15日(水) 「木更津キャッツアイ」(123分)12:30~、15:00~
監督:金子文紀 出演:岡田准一
6月22日(水) 「ビッグフィッシュ」(125分)12:30~、15:15~
監督:ティム・バートン 出演:ユアン・マクレガー
7月 6日(水) 「BROWN NOTE LIVE vol.2
~アフリカの吟遊詩人~(太鼓、豎琴、踊り)」
出演:EPIZO BANGOURA&BANGOURA FAMILY

♪~サマー・ラウンジコンサート~ in 多目的ホールラウンジ♪

【日 時】6月27日(月)~7月1日(金)12:30~
出演学生団体募集中!



WOT(ワット)

【会 場】ハーディーホール(今出川校地 寒梅館B1F)
【お問い合わせ先】今出川校地学生支援課 TEL:075-251-3270
いずれも詳細は掲示や本学ホームページでお知らせいたします。
内容・時間帯は都合により変更となる場合があります。

Cinema

- 6月 2日(木) 「卒業生凱旋上映「動・響・光」(180分)
17:30~トーク、18:00~上映
前作「TRUTHS:A STREAM」が世界で賞賛を浴びた
槌橋雅博監督(88年経済学部卒)の最新作を先行公開!
6月 9日(木) 「北の零年」(168分)15:00~、18:30~
監督:行定勲 出演:吉永小百合 渡辺謙 豊川悦司
6月16日(木) 「血と骨」(144分)16:40~、19:15~
監督:崔洋一 出演:ビートたけし 鈴木京香
オダギリジョー

6月 30日(木) 「珈琲時光」(103分)16:40~、19:10~
監督:侯孝賢(ホウ・シャオシェン)
出演:一青窈 浅野忠信 萩原聖人

【料 金】本学学生・教職員:無料、一般:1,000円、他学生:500円
6月23日(木)は新作映画試写会を行う予定です。

CONCERT

6月 5日(日) WOT番外編「心にのこる新しい日本の歌」
出演:ソプラノ…日紫喜 恵美、島崎 政子
テナー…西垣 俊朗
オーケストラ…京都フィルハーモニー室内合奏団
1回目:14:00~(開場13:15~)
2回目:18:00~(開場17:15~)

【料 金】2,000円
【チケット取扱所】最寄りの京都新聞販売所
京都新聞文化センター TEL:075-256-0007
京フィルチケットセンター TEL:075-212-8744
チケットぴあ(Pコード196-088) TEL:0570-02-9966
ローソンチケット(Lコード53486) TEL:0570-06-3005
【お問い合わせ先】京都フィルハーモニー室内合奏団
TEL:075-212-8275

※本学学生・教職員先着120名様を無料でご招待いたします。整理券は今出川校地学生支援課にて配布しております。整理券がなくなり次第、配布終了とさせていただきますのでご了承ください。



CLAP(クラップ)

「演じてみよう!~身体表現~」終了公演

5月から10回シリーズで行ってきた表現ワークショップの成果を発表します。
【日 時】7月6日(水) ※時間帯未定

クローバーシアター

毎週火曜日、寒梅館ミニシアター・クローバーホールで映画史に残る名作を上映します。

【会 場】クローバーホール(今出川校地 寒梅館B1F)
【料 金】無料
【お問い合わせ先】今出川校地学生支援課 TEL:075-251-3270

〈ルキーノ・ヴィスコンティ特集〉

- 6月 7日(火) 「われら女性」(97分) 16:45~
「ベリッシマ」(109分) 18:30~
6月14日(火) 「ベニスに死す」(130分) 16:45~
上映後19時から、社会学部メディア学科・佐伯順子先生によるシネマ・トーク「少年美の東西」があります。
6月21日(火) 「白夜」(102分) 16:45~
「熊座の淡き星影」(100分) 18:40~

〈台湾映画特集〉

- 6月28日(火) 「冬冬の夏休み」(98分) 16:45~
「恋恋風塵」(110分) 18:30~
7月 5日(火) 「牯嶺街少年殺人事件」(236分) 16:30~

同志社大学ゴスペルクワイアー Joyful-Joyfulゴスペルコンサート Here We Are! To Make You Joyful-Joyful!

【日 時】7月1日(金) 18:00開場 18:30開演
【会 場】ハーディーホール(今出川校地 寒梅館B1F)
【料 金】無料
【お問い合わせ先】代表・青木 TEL:090-6479-8630、
E-mail:joyfulbox@hotmail.com

書道部展示「第1回 青嵐展」

【日 時】6月18日(土)・19日(日) 10:00~17:00
【会 場】建仁寺西来院(京都市東山区大和大路通四条下る)
【料 金】無料
【お問い合わせ先】幹事長・藤澤 TEL:090-1334-5108

JR福知山線脱線事故について

学生の皆さまへ

4月25日朝に発生したJR福知山線脱線事故によって、通学途上にあった多くの本学学生が犠牲となり、そのうち仙木敦子さん(文学部英文学科1年次生)、榊原怜子さん(社会学部メディア学科1年次生)、長濱彩恵さん(法学部法律学科2年次生)の3人の学生が亡くなりました。また、4月28日に起きた磐越道バス横転事故でも、帰省途中の佐藤学さん(経済学部経済学科1年次生)が亡くなりました。

希望に満ちて本学に入学された優秀な学生を次々にこういうかたちで失うことは、学長として断腸の思いであり、言葉ありません。理不尽にその希望ある生を絶たれた4人の方々の無念さに深く思いを致し、その思いを胸に今後、学生の皆さま一人ひとりがそれぞれの充実した生に向け、いっそう努力されることを切望します。

そして、ご父母・ご家族の方々の言葉に尽くしがたい悲しみに、大学を代表して衷心より哀悼の意を捧げます。さらに、本学学生25人が重軽傷を負いました。一日も早い快復を心からお祈りするとともに、大学として就学、学生生活に関わる支援体制を整えてまいります。同じキャンパスにいる学生の皆さまにも、色々なかたちでお力添えをいただければ幸いです。

また、5月9日、学生の皆さまの安全と安心を確保する立場から、学長名で西日本旅客鉄道株式会社代表取締役社長垣内剛様宛に、

- 1 事故で犠牲になられた方のご遺族、被害者への支援及び補償について、迅速で誠実かつ万全の対応を期すること
 - 2 事故原因を早期に徹底究明し、二度とこのような事故の起こることがないように、安全対策に万全の配慮を行い、安全確保を徹底すること
 - 3 通学に利用する本学学生の多くが被害の集中した1、2両目車両に乗車していることは、同志社前駅が4両停車のため京田辺駅で車両の切り離しが行われていることに起因する。また途中駅で前の車両への乗り換えを余儀なくされる等、安全面からも問題があるため、同志社前駅のホーム延長を早急に行うこと
- という3点の「申入れ」を行いました。

今後も、学生の皆さまの通学上の安全確保のために、西日本旅客鉄道株式会社をはじめとする各交通機関や地域に対して、必要な要請を行っていく所存です。

同志社大学長 八田 英二

JR福知山線脱線事故に遭われた学生の皆さまへ —カウンセリングセンターから—

JR福知山線の脱線事故で、本学の多くの学生が巻き込まれ、心や身体に傷を負われたことを思うと胸が痛みます。ご本人あるいは友人や身のまわりの方が事故に遭われた学生の皆さまは、大きなショックを受けておられることでしょう。

少しでも不安があれば、両校地にあるカウンセリングセンターまで遠慮なく相談に来てください。カウンセラーがあなたの心のケアにあたります。

カウンセリングセンター		
京田辺校地(ラウンジ棟1階) 電話:0774-65-7415	月～金	9:00～11:30、12:30～17:00
	土	9:00～12:00
今出川校地(待辰館1階) 電話:075-251-3275	月・水・金	9:00～11:30、12:30～17:00
	火・木	9:00～11:30、12:30～19:00
	土	9:00～12:00

My PURPOSE

挑戦する人



大学生と元気企業の会長兼CEOを両立 〜オンリーワンの生き方を貫く〜

2002年春。私は学生として初めて、京田辺キャンパスの門をくぐりました。正門から校舎まで続く通路の両側には、部活動の勧誘をする机が並び、学生が通りすぎる新入生にチラシを渡していました。当時、私は39歳。新入生の親の年代に近い歳でしたが、たちまち、手には何枚かのチラシが重ねられていきました。本当に、大学に入ったのだ。入学式当日と重なった入社式で、新入社員を前に経営トップとして挨拶をした自分が、今度は新鮮なやる気が満たされながら、フレッシュマンとして、新たなキャンパスライフをスタートさせたのでした。

ただ同じ曜日にまとめ、順調に単位を取得。現在は、週に1日だけキャンパスに足を運んでいます。



2006年に完成する新社屋

大学生生活を通して強く感じるのは、勉強がこんなに楽しいものだったのかということ。大学生になるまで、私の学歴は中卒でした。ジュニア・フライ級のプロボクサーとしてリングに立った後、21歳でオザサ塗装工業を設立。これまで徹底した現場主義で仕事をし、裸一貫から総合リフォーム事業をコアとした年商100億円を超える生活総合支援企業「オンテックス」に育て上げました。経営についても誰かに習ったわけではありません。ところが、新規事業の展開に際して、IT関係の専門学校に行こうとしたところ入学資格は高卒以上。一番の近道は何かと考え、大学入学資格検定を受けるために猛勉強し、さらに上をめざして同志社大学に進学。商学部でファイナンス、経済学、経営学を体系的に学んできました。例えば、鈴木良始教授の生産管理論の授業のなかで取り上げられた資本回転率は、当社の在庫管理を考えるヒントを与えてくれ、証券論や金融論などの授業もかなり具体的に突っ込んだところまで学ぶので、日頃展開している実

ビジネスへの応用ができて興味がありませんでした。これまでに積み重ねてきた現場主義の経験に大学で学んだ理論を重ね合わせることで、新たな発想を広げる格好の機会を得られたと実感しています。そして、検証や根拠といったものの重要性を再認識し、即実践。これまで詰めが甘かった部分が見えてきて、戦略強化に結びつけています。今、仕事が面白くて、パワーがみなぎっています。

また、若者たちとの交流を通じて、その思いを等身大で共感できたことが大きな収穫といえます。当社の経営理念は「一心不乱」。大きな夢を追いかけて、オンリーワンの企業、そしてオンリーワンの生き方を貫ければと思います。みなさんは若いのです。もっと貪欲に自分の可能性にチャレンジしてほしいです。

大学生と会長兼CEO(最高経営責任者)。いささか異色のスタンスをとりながら、学業と社業に励む日々を重ねました。1年次は、月曜から金曜日まで大学に行き、授業が終わると車に飛び乗り、ノートパソコンを開いて即仕事。土曜、日曜日でも仕事にあて、ほぼ皆勤賞もので大学に通い詰めました。2年次からは、授業をできる

か異色のスタンスをとりながら、学業と社業に励む日々を重ねました。1年次は、月曜から金曜日まで大学に行き、授業が終わると車に飛び乗り、ノートパソコンを開いて即仕事。土曜、日曜日でも仕事にあて、ほぼ皆勤賞もので大学に通い詰めました。2年次からは、授業をできる

Profile



おざさ ともや 小笹 公也さん

【商学部商学科4年次生】
株式会社オンテックス
代表取締役会長兼CEO